

平成27年度発達障害児者支援開発事業 実施状況報告

都道府県等名 大阪市

1 実施期間 平成27年4月 ～ 平成28年3月

2 企画・推進委員会実績

(1) 委員構成 8 名

	氏 名	職 業 (役 職)
委員長	里見 恵子	大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類 准教授
委員	田中 勝治	西宮すなご医療福祉センター院長
同	福田 啓子	大阪自閉症協会副会長
同	溝上 久美子	大阪LD親の会「おたふく会」副代表
同	前野 哲哉	大阪市障がい者就業・生活支援センター 所長
同	岩崎 隆彦	大阪市障がい児・者施設連絡協議会(姫島こども園園長)
同	以倉 康充	大阪市こころの健康センター 所長
同	井上 芳子	大阪市発達障がい者支援センター所長

※企画・推進委員会における会議資料等参考となる資料を添付すること

(2) 開催実績 2 回

	開催日	検 討 内 容
第1回	平成27年7月16日	・発達障がい者支援センター事業実施状況報告(26・27) ・発達障がい者就業支援コーディネーター事業実施状況報告(26・27) ・再構築事業について(発達障がい者支援関係) ・「大阪市発達障がい者支援指針」について (その他) ・「世界自閉症啓発デー」(4月2日)「発達障がい啓発週間」(4月2日～4月8日)の取組について ・「大阪市の就学相談」リーフレット(保護者向け)の作成について ・「できた！わかった！たのしいよ！パートII」の作成について
第2回	平成28年2月24日	・発達障がい者支援センター事業実施状況報告 ・発達障がい者就業支援コーディネーター事業実施状況報告 ・再構築事業(発達障がい者支援関係)実施状況報告 ・障害者差別解消法の施行に向けた本市における取組みについて (その他) ・「世界自閉症啓発デー」「発達障害啓発週間」の取組について

[別紙資料参照]

3 支援モデル事業毎の評価について(事業毎に作成すること)

① 事業名	発達障がい者就業支援コーディネーター事業	
② 事業の類別 (該当する番号に○を付けてください)	(1) (2) 行動障害、二次的障害の「予防」における効果的な支援手法の開発 行動障害、二次的障害の「改善」に関する効果的な支援手法の開発	
③ 事業の内容	委託先法人	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会
	実施施設名	大阪市障害者就業・生活支援センター
	施設の所在地	大阪市天王寺区東上町4-17
	選定理由	大阪市内で障がい者の就業支援の総合センターの役割を担う大阪市障がい者就業・生活支援センターを運営し豊富な実績・経験を有することに加え、発達障がい者支援センター事業を通じて、発達障がい者の障がい受容や特性理解、感情のコントロールといった基礎的な社会生活スキルなどの発達支援のノウハウも蓄積し、就業支援・発達支援の両面を持ち合わせている法人である。
	事業に定員がある場合	定員 名
	(事業内容等)	
	発達障がいに関する専門知識を有し、かつ、就労支援サービスの提供もできるコーディネーターを大阪市障がい者就業・生活支援センターに配置し、市内在住の発達障がいがある方(疑い含む)で就労を希望するものの、就職や職場への適応が困難で、二次的障がいを発症した人など、日常生活又は職業人として困難をきたしている人に対し、関係機関とのコーディネートによる医療支援・発達支援・就労支援等を通じて日常生活面の安定から就労に向けた一貫した支援を展開する。 また、就職や職場生活を実際に行う前段階である学生(大学・専修学校等)で「発達障がいのある方(疑い含む)」やそういった学生を支援する担当者等に対し、在学中から「発達障がいの気づき」「特性整理」等の自己理解を深め、「働くこと」を体験し、後に訪れる就職活動や職場生活上で発生する課題への対応や困難感に対する工夫への準備といった発達支援を関係機関と連携しながら検討し展開する。	
	① 就労希望者に対する発達支援・就業支援	
	・ 困難事例(うつや悪化で離職など)や障がい受容・特性理解・感情のコントロールなどの基礎的な社会生活スキルの獲得が必要な就労希望者に対し、発達障がい者支援センター(エルムおおさか)と連携した支援(「こころとからだのワークショップ」)を実施するなど、就職準備のプロセスへの移行を図る取組み。 ・ 個人特性、就労及び生活歴、現在の状況を把握し、医療機関との連携等を含む手帳取得の支援、職業適性の把握、訓練等福祉サービス利用等を通じた職業スキルの獲得・向上、職場体験実習、職種のマッチング等、本人の特性を踏まえながら関係機関とのコーディネートを通じた就職準備を経て就職をめざす取組み。 ・ 関係機関や企業と連携した職場定着支援・職場復帰支援の取組み及び仕組みの構築を図る取組み。	
	実績)	➢ 新規相談者54人のうち、情報提供・定期相談・医療機関連携・こころとからだのワークショップなどの発達支援等を経て就職準備支援プロセスへ移行した者29人。(資料1) ➢ 職場定着・復帰支援としての職場訪問延べ75回、職場訪問による実支援人数24人。(資料1) ➢ 平成27年度就職者数30人(資料1、資料2) ➢ 「こころとからだのワークショップ」…参加者6名、6回連続講座(資料3)

	②将来、企業への就職を希望する、発達障がい(疑い含む)のある学生等に対する発達支援・就労準備支援				
	・就職や職場生活を実際に行う前段階である発達障がい(疑い含む)のある学生および学生支援担当者等に対する自己理解等の発達支援の実施。 ・「ビジネスマナー」講座受講や「しごと体験」等の実習体験を通じ、就労に向けた課題整理などの就労準備支援の実施。 ・専修学校等へ「発達障がいの正しい理解と適切な対応」や「社会資源の活用」等についての出前講座等を実施し、在学中の早い段階からの学生支援の必要性について周知を図る取組み。				
	実績)	➢就労準備支援講座参加学生2名、参加学生支援者6名、参画(参画準備調整含む)した大学2校(資料4)			
➢就労準備支援として、専修学校・定時制高校等へ「出前講座」を実施し、学生支援者等へ発達障がいの正しい理解と対応の工夫や社会資源の利用ノウハウなどを発信。出前講座実施回数8回、参加者数460名。(資料5)					
	③発達障がい者の地域就労支援				
	・就業や就労継続のための生活支援方法に関する、地域関係機関との検討、連絡調整 ・障がい者就業・生活支援センターや就業相談を行う支援機関における、発達障がい者への就労支援スキルの向上をめざす取組み。 ・対象者が地域で普通に日常生活を送り、働き暮らせるよう、障がいを理解し、支える機関を増やす取組み。 ・学校や発達障がい者支援機関など、それぞれの役割の範囲内で支援対象者へ最大限の支援が提供されるよう連携調整する。				
	実績)	➢セミナー等講演会への講師派遣等6回、参加者数149名。(資料6)			
➢市域7か所の地域障がい者就業・生活支援センター就労支援員への発達障がい相談支援手法の伝達による後方支援。月1回程度の勉強会における「対応事例紹介・ケース検討」「連携先・連携方法等の共有」等(資料7)					
	④発達障がい者の就労支援・発達支援に関する情報の収集、発信				
	・「発達障がいのある人の就職に関する相談窓口」として、障がい者手帳の有無にかかわらず、就労支援を必要としている人に解りやすく情報を届け、相談者の状況に応じて発達支援にもつなげるなど、対象者の態様に応じた方向へと道案内する。				
	実績)	➢大阪市障がい者就労支援フェスタへの参加者208名、参加企業・機関数97か所。(資料8参照)			
④ 人材の配置状況	職種	就業支援員			
	人数	2人			
	(勤務形態等) 専任職員による配置				
⑤ 対象者の選定 における基準	・発達障がいがあること(発達障がいの「疑い」含む) ・対象者が企業への就職を希望していること ・現職業の継続に困難を生じていること ・社会生活スキルに端を発した離職や就職活動の困難さを経験していること ・大学・専修学校等に在学中の発達障がい(疑い含む)がある方で、将来、企業への就職を希望していること				

⑥ 事業による効果

① 就労希望者に対する発達支援・就業支援

就労希望者の就労を困難にする要因としては、就労支援や福祉サービスの存在や活用方法について知識が無い、自分の障がい特性やそれに対する工夫を知らない、対人関係に自信が持てない、生活リズムや生活習慣の乱れがある、家族との認識や意向に食い違いがある、医療的ケア（精神面での）が必要な状態であること等があげられる。就業支援コーディネーターは就労希望者の「道のり」から就労を困難にする要因や就労希望内容の整理、必要に応じて医療機関と連携し、本人と主治医との意思疎通補助や医療機関のケースワーカーと情報共有を図ること、精神面の安定に向け効果的な治療と就労支援が並行して実施できるという効果をもたらしている。

発達障がいの特性理解については、面談で、本人が過去に直面した困難な場面や苦手な場面、本人や家族が自覚している特性等の聞き取り等を通して一緒に整理をしたり、訓練や実習等の「実体験」と「振り返り（他者からの客観的な評価）」を通じて整理をすることで、具体的に深い理解につながった。また、発達障がい者支援センターと連携して、困難事例に対して実施した「こころからたのワークショップ」では、うれしい、楽しいといったプラスの感情を見つけることから始め、からだを動かす体験で得られた爽快感やリラックス感を実感することで、身体活動が「健康維持」だけでなく「感情のコントロール」に役立つことに気づくこと、また、今できている行動を書き出していいところ探しをすることで「自己理解」のきっかけづくりをすることができ、生活訓練施設の利用へとつながった。就労に向けた次のステップへのベース作りの一端を担えたものと思われる。

就労準備のためにつながった資源としては、障がい者職業センター（職業評価・準備支援）、就労移行支援、職業能力開発施設、自立訓練、就労継続支援B型、就労体験、企業実習等があげられる。大阪市内には就労準備を行う訓練機関が数多く存在する。多くの選択肢の中から選択することが一人では難しい人に対し、本人の希望に合いそうな機関をピックアップし見学同行や体験の手配、その後の情報整理等を行いながら本人が選択しやすい環境を作り、本人が納得できる訓練施設につながることが出来た。就労準備中の本人の状況をハローワークと共有することで、本人と職場・職種のマッチングがよりスムーズになり、効果的な職業紹介が可能になった。

生活面に不安定要素のある人については、地域の相談支援事業所に協力をお願いし、ヘルパー派遣や金銭管理、健康管理などを行うことで就労準備や就職活動により集中しやすい環境を整えた。

コーディネーターが関わることによってこれまでなかった福祉資源へのつながりが出来ること、就職までに準備しておくべきことが整理されること、就職活動や手続きの際のコミュニケーションの行き違いによるトラブルが軽減されることなどの効果があった。また、医療機関とのこまめな情報共有（受診同行含む）により、訓練機関とも精神症状（二次的障がい等）への対応について共通の認識を持ち就労準備訓練を行うことが出来た。さまざまな支援機関の役割を踏まえ、コーディネーターが継続的に支援をコーディネートするという取組みにより30人の方が就職につながった。

職場定着支援では、就労の準備段階で、医療機関・ハローワーク・障害者職業センターのジョブコーチ制度・就労移行支援等の訓練機関と連携し、整理した本人の障がい特性や支援方法を企業に伝えることで、障がいに対する理解を促し、職場環境を整えることが出来た。特に就職先企業においては、人事や現場担当者だけでなく、産業医とも連携することで、企業が自立的に職場定着支援が実施できる仕組みづくりに寄与した。

雇用が長期にわたると職場環境の変化（業務内容、人的環境）の発生は避けられないため、本人との定期面談等により、職場環境の変化を早めに把握することで、変化に対する本人の気持ち等の準備を整えることが出来、職場不適応を未然に防ぐことが出来た。また、日頃から企業と情報共有体制を整えておくことで、生じた課題に速やかに対応することが可能となり、休職や離職を回避することができている。

② 将来、企業への就職を希望する、発達障がい(疑い含む)のある学生等に対する発達支援・就労準備支援

大学や専門学校等を卒業後、社会とのつながりが持てないまま無業状態に陥り発達障がい者就業支援コーディネーターのもとへ相談に訪れる方の中には、アルバイトなどの経験が無いなど、卒業後の進路としての就業のイメージが持てないまま就職活動がうまくいかなかった事例が多い。今回、学生向けとして、「社会人マナー講座」「企業体験」だけでなく、「自己理解セミナー」「困った時の対応の工夫を知る」「ストレスマネジメント(運動体験)」「感情のコントロール」に関する講座をあわせて実施するプログラムにしたことで、近い将来訪れる就職活動の中で直面する課題に向き合う準備、就労に向けた課題整理を行うきっかけづくりとすることができた。

27年度は事業開始初年度ということもあり、連携先大学への調整を丁寧に行う必要があったため、講座等の実施までに時間を要した。一方、参加者募集や対象者選定、事前面談という初期の段階から学生支援室・担当教官等と協働して事業を進めることで、学生支援者が参加学生と「課題」や「課題への対応の工夫」、「障がい者雇用や一般雇用に向けての必要な環境整備」等について共有することができ、学内における発達障がいのある学生支援の一助となった。

また、専修学校・定時制高校等への「出前講座」により「発達障がい理解講座」を積極的に実施し、「教職員」「家族」に発達障がいの正しい理解と対応の工夫、社会資源利用ノウハウを発信することで、在学中の早い段階からの学生支援の必要性について周知を図ることができたとともに、発達障がいのある学生の「身近な支援者」「身近な応援者」を増やすことにつながった。また、体験実習や社会資源の活用を紹介することで、就労にむけての「体験」や働く事について前向きに考えてみるきっかけづくりにもつながった。

③ 発達障がい者の地域就労支援

講演等を通じ、より多くの関係機関・支援者等に発達障がいに関する正しい理解や支援の工夫、特に発達障がい者の就労支援の実際や支援ノウハウを広く発信し地域における支援ネットワーク構築を推進した。

特に、「自閉症診療セミナー」において精神科医師・小児科医師・心理士等へ発達障がいのある方の就労支援の状況を発信することで、判定・診断後の支援の方向性や医療と福祉の連携の必要性について改めて認識いただくことができた。

加えて、市内学校園の特別支援教育を担当する教員向けセミナーでは、「就労支援とキャリア教育について」とし、障がい者就労支援に関わる機関の役割を伝え、学校と卒業後の見通しや、在学中に準備出来ることなどを周知し支援手法の発信を行った。

また、地域で発達障がいのある方への適切な支援が可能となるよう、コーディネーターは、毎月1回各地域就ボツ(市内7か所)の支援員を集めて勉強会を行い、ケース対応事例や就労までの「道のり」の紹介等を通じて支援手法を発信し、発達障がい者への就労支援スキル向上につなげている。

④ 発達障がい者の就労支援・発達支援に関する情報の収集・発信

大阪市障がい者就労支援フェスタを企画・開催。当事者・家族・教育関係者・相談支援機関職員・企業担当者等など参加者は208名、参加企業・機関97事業所であった。

障がい者雇用で働く当事者と、雇い入れている企業の担当者、その支援者による体験談をとおして、就職活動に困難を感じている当事者や保護者、支援関係者に向けて、企業の障がい者雇用に対する考え、雇用現場の工夫や悩み、障がい者就業・生活支援センターや発達障がい者就業支援コーディネーター事業および障がい者就労支援についての理解を深め、支援手法の普及を図った。

当事者・支援者・雇用者といった様々な立場の考え方を知ることの重要性を周知するとともに、各機関が「縦割り」ではなくつながりを持ちながら役割分担をして対象者を支える仕組みについて、ケース事例を交えながら発信し、さまざまな支援手法を広めることができた。

⑦ 事業効果を測るための視点及び検証方法 (上記の番号と対比させて記入すること)	① 継続して相談をしているケース、職業準備のための訓練や職場定着支援などを継続して受けているケースについては、就業支援コーディネーターが関わることで展開とつながった地域資源、関わりを通じた本人の変化、就労に向かう道のりのふりかえりを行った。情報提供など1回～数回の面談で終了したケースについては、相談者が求めている情報の内容を整理した。医療機関と情報共有を行っているケースについては、医療機関から見た本人の変化についての聞き取りを行い、効果的な支援が出来ているかのふりかえりを行った。「こころとからだのワークショップ」参加による自己理解等については、参加者へ記述式のアンケートを実施。 ② 学生への就労準備支援講座について、参加した学生には、参加したことに関してだけでなく、個々のプログラム内容についてもアンケートを実施。連携大学の学生支援者には、意見交換会により「実施時期およびプログラムの実施方法」を含め、具体的な意見を聴取した。 また、専修学校・定時制高校等への出前講座においては、講座受講のきっかけや講座プログラムに関し、参加の教職員だけでなく参加学生からの意見集約ができるよう、講座終了後、参加者にアンケートを実施。 ③ 講師として参加したセミナー等については、各主催者が実施したアンケート調査結果の情報提供をうけ分析している。 ④ 就職者・支援者・企業担当者に体験談を語ってもらうセミナーの終了後、参加者に対してアンケート調査を実施した。発達障がい者への就労支援に対する関心の有無、就労支援に関して必要としている情報などについて質問項目を設定し、検証をおこなった。
⑧ 他地域に手法を広げるための方法 (該当する番号を○で囲む。) (その他の場合は下に具体的に記載。)	① ホームページに実践内容やマニュアルをまとめて公表・掲載 ② 他県職員も参加できる研修を実施 ③ その他 ・ 就業支援と発達支援とを組み合わせ実施した事例（良い例も悪い例も）を発信する ・ 障がい者支援機関の位置づけではない機関（高等学校、専修学校、大学、若者支援機関、生活困窮者支援機関、企業等）への講演を積極的にを行い、発達障がいの正しい理解や発達障がいのある方への就労支援手法の普及を図る
⑨ 国に提出する成果物	・ 発達障がい者就業支援コーディネーター事業報告
⑩ 今後の課題	[1] 発達障がい者就業支援コーディネーター事業については、27年度においても、54名が新規登録しており、発達障がい者の就労支援の専門的窓口として多くのニーズがうかがえる。一方、大阪市では平成27年度に市内6か所の各地域就ボツの就労支援員を2名⇒3名に増員し、発達障がい者の就労支援に身近な地域でも対応可能となるよう、相談支援体制の強化を図ったところである。市内7か所の就ボツにおける相談支援件数は、全体で23,270件⇒29,956件と増加した。また、毎月の市内就ボツ連絡会の中では、発達障がいのある方の困難事例が多くなってきている状況も報告されており、各就ボツの就労支援員が困難事例にも対応できるよう、今後も、発達障がい者就業支援コーディネーター事業において、職員のスキル獲得に向けた後方支援の取組みをより一層進めていく必要がある。 [2] 「発達障がいのある学生への就労準備支援」については、参加学生への支援だけでなく、学生が所属する大学等の機関の学生支援者への理解促進の程度が鍵となる。27年度連携した大学においても、大学内の教職員へ「発達障がい理解」を段階を踏んで丁寧に説明する必要がある、参加者募集にまでに時間を要した。 また、当該「就労準備支援事業」の連携大学には、学生選定などの初期の段階から関わっていただくことで、その後の発達障がいのある学生の学内支援体制構築につながることから、学生支援者・教職員との協働が可能な事業実施方法を引き続き検討する必要がある。 27年度は障がい者雇用で連携している企業の協力を得て実習を行っており、学生がクローズドでの一般就労をめざす場合には一般の職場での体験にはなり難いことが課題となった。ご本人の進路のニーズを踏まえ、一般企業の中で特性に配慮しつつ能力を発揮してもらえるようなシステムづくりをしている職場を開拓・情報収集し、情報提供していくことについても検討していく必要がある。

注) 各欄については、具体的に記入すること

また、文字数が不足する場合は別様に記入した書類を添付すること

6 全国に普及すべき内容について（事業毎に作成すること）

○大阪市内の発達障がい者支援システム構築への仕掛け

➤ 発達障がい者に対するサービス・役割を支援機関に振り分けていくコーディネート手法や、発達障がいがある方と面談する中でのニーズ整理や自己理解をすすめていく具体的な手法を、障がい者就業・生活支援センター、ハローワーク、就労支援施設などと共有するための仕掛け
（支援者養成講座、ブロックごとの連絡協議会や障がい者就業・生活支援センター連絡会議での事例検討会、事例集の作成・普及など）

➤ 就労支援のどの窓口に行っても、発達障がいのある方が一定の方向付けや支援をうけられるように、発達障がいがある方の就労支援に関する情報を効果的に発信する仕掛け

➤ 大学生の仕事体験など、在学中から「働くこと」のイメージを持ち「自分にマッチした仕事探し」を準備していく際に、福祉施設などの評価・実習機能が利用できないなど、支援体制が整っていない。在学中から「発達障がいの疑いのある方」やそういった学生を支援する進路担当者に対する障がい理解・自己理解の促進や「しごとを知る体験」といった発達支援を展開していく仕掛け

添付資料一覧

【別紙資料】

- ・平成 27 年 7 月・平成 28 年 2 月開催
大阪市障がい者施策推進協議会発達障がい者支援部会
(企画・推進委員会) 次第

<資料 1>

平成 27 年度 発達障がい者就業支援コーディネーター事業 (相談者の状況)

<資料 2>

平成 27 年度 就職者一覧

<資料 3>

平成 27 年度「こころとからだのワークショップ」実施報告

<資料 4>

平成 27 年度「発達障がいがある学生の就労準備支援事業」試行実施報告

<資料 5>

「専修学校等学生・進路担当者向け出前講座等」について

<資料 6>

セミナー等講演会・障がい者就労支援フェスタ実施状況について

<資料 7>

地域就ポツとの事例・情報共有勉強会実施状況 (平成 27 年度)

<資料 8>

大阪市障がい者就労支援フェスタ資料 (粋)
(発達障がい者の就労支援に関する支援機関の手引き、参考資料)

大阪市障がい者施策推進協議会 発達障がい者支援部会

次 第

日時：平成27年7月16日（木）午前10時～12時

場所：大阪市役所 地下1階第11共通会議室

〔議事次第〕

1 開 会

2 議 題

- （1）発達障がい者支援センター事業実施状況について
- （2）発達障がい者就業支援コーディネーター事業実施状況について
- （3）再構築事業（発達障がい者支援関係）実施状況報告について
- （4）「大阪市発達障がい者支援指針」について
- （5）その他
 - ・「世界自閉症啓発デー」（4月2日）「発達障害啓発週間」（4月2日～8日）の取組について
 - ・「大阪市の就学相談」リーフレット（保護者向け）の作成について
 - ・「できた！わかった！たのしいよ！パートII」の作成について

〔配付資料〕

大阪市障がい者施策推進協議会 発達障がい者支援部会 委員名簿

資料1 発達障がい者支援センター事業実施状況

資料2 発達障がい者就業支援コーディネーター事業実施状況

資料2-1-1 平成26年度発達障害児者支援開発事業実施報告書

資料2-1-2 平成26年度発達障がい者就業支援コーディネーター事業報告

資料2-2 大阪市発達障がい者就業支援コーディネーター事業報告（事例集）

資料2-3 発達障がい者就業支援コーディネーター事業アンケート結果

資料3 再構築事業（発達障がい者支援）実施状況

資料3-1 発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化

資料3-2 乳幼児発達相談体制の強化（区長マネジメント）

資料3-3 専門療育機関の設置

資料3-4 ユニバーサルサポート事業

資料3-5 発達障がい者研修支援事業（教育センター研修機能の強化）

資料3-6 特別支援教育巡回相談体制の強化

資料3-7 発達障がいサポート事業（区長マネジメント）

資料3-8 児童養護施設等での発達障がい児自立支援事業

資料4 「大阪市発達障がい者支援指針」について

資料5 その他

- ・「世界自閉症啓発デー」（4月2日）、「発達障害啓発週間」（4月2日～8日）の取組について
- ・「大阪市の就学相談」リーフレット（保護者向け）の作成について
- ・「できた！わかった！たのしいよ！パートⅡ」の作成について

大阪市障がい者施策推進協議会 発達障がい者支援部会

次 第

日時：平成28年2月24日（水）午前10時～12時

場所：大阪市役所 地下1階第11共通会議室

〔議事次第〕

1 開 会

2 議 題

- （1）発達障がい者支援センター事業実施状況について
- （2）発達障がい者就業支援コーディネーター事業実施状況について
- （3）再構築事業（発達障がい者支援関係）実施状況報告について
- （4）障害者差別解消法の施行に向けた本市における取組みについて
- （5）その他
 - ・「世界自閉症啓発デー」（4月2日）「発達障害啓発週間」（4月2日～8日）の取組について

〔配付資料〕

大阪市障がい者施策推進協議会 発達障がい者支援部会 委員名簿

資料1 発達障がい者支援センター事業実施状況

資料2 発達障がい者就業支援コーディネーター事業実施状況

資料3 再構築事業（発達障がい者支援）実施状況

資料3－1 発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化

資料3－2 乳幼児発達相談体制の強化（区長マネジメント）

資料3－3 専門療育機関の設置

資料3－4 ユニバーサルサポート事業

資料3－5 発達障がい者研修支援事業（教育センター研修機能の強化）

資料3－6 特別支援教育巡回相談体制の強化

資料3－7 発達障がいサポート事業（区長マネジメント）

資料3－8 児童養護施設等での発達障がい児自立支援事業

資料4 障害者差別解消法の施行に向けた本市における取組みについて

資料4(参考1)障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針

資料4(参考2)大阪市における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領(案)

資料4(参考3)大阪府障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例(仮称)案の概要について

資料5 その他

- ・「世界自閉症啓発デー」（4月2日）、「発達障害啓発週間」（4月2日～8日）の取組について

＜資料 1＞

平成 2 7 年度

発達障がい者就業支援
コーディネーター事業

相談者の状況
(平成28年3月31日時点)

大阪市障がい者就業・生活支援センター

【1】平成27年度 登録者の状況

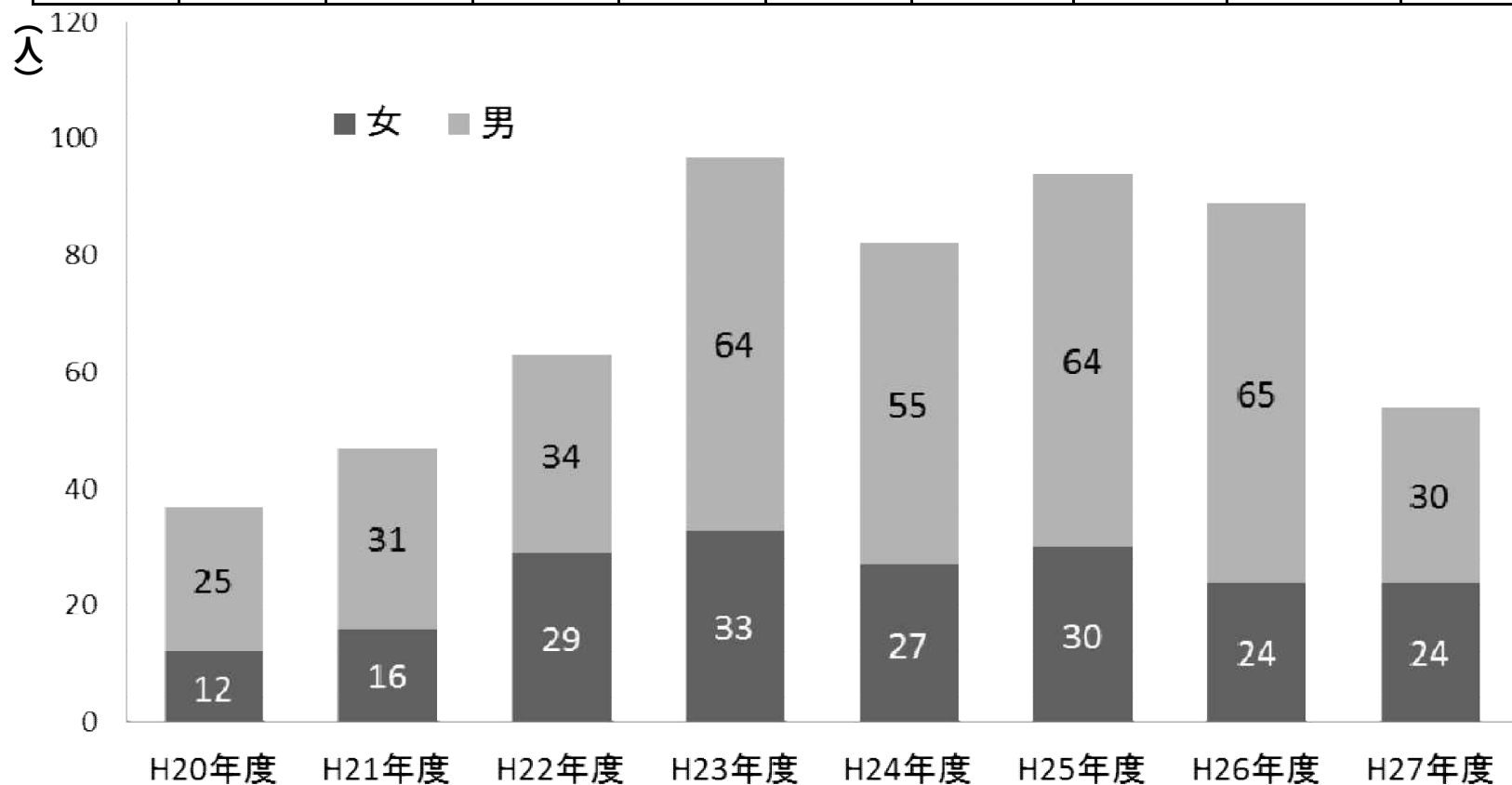
登録者数		277名
内訳	①前年度からの 継続相談者	223名
	②平成27年度 新規相談者	54名

- ・「登録者」とは、継続した就労支援を希望している者
- ・5年以上継続して関わっている登録者の存在
→安定すれば関わりは薄くなるが、困った時に相談できる安心感。

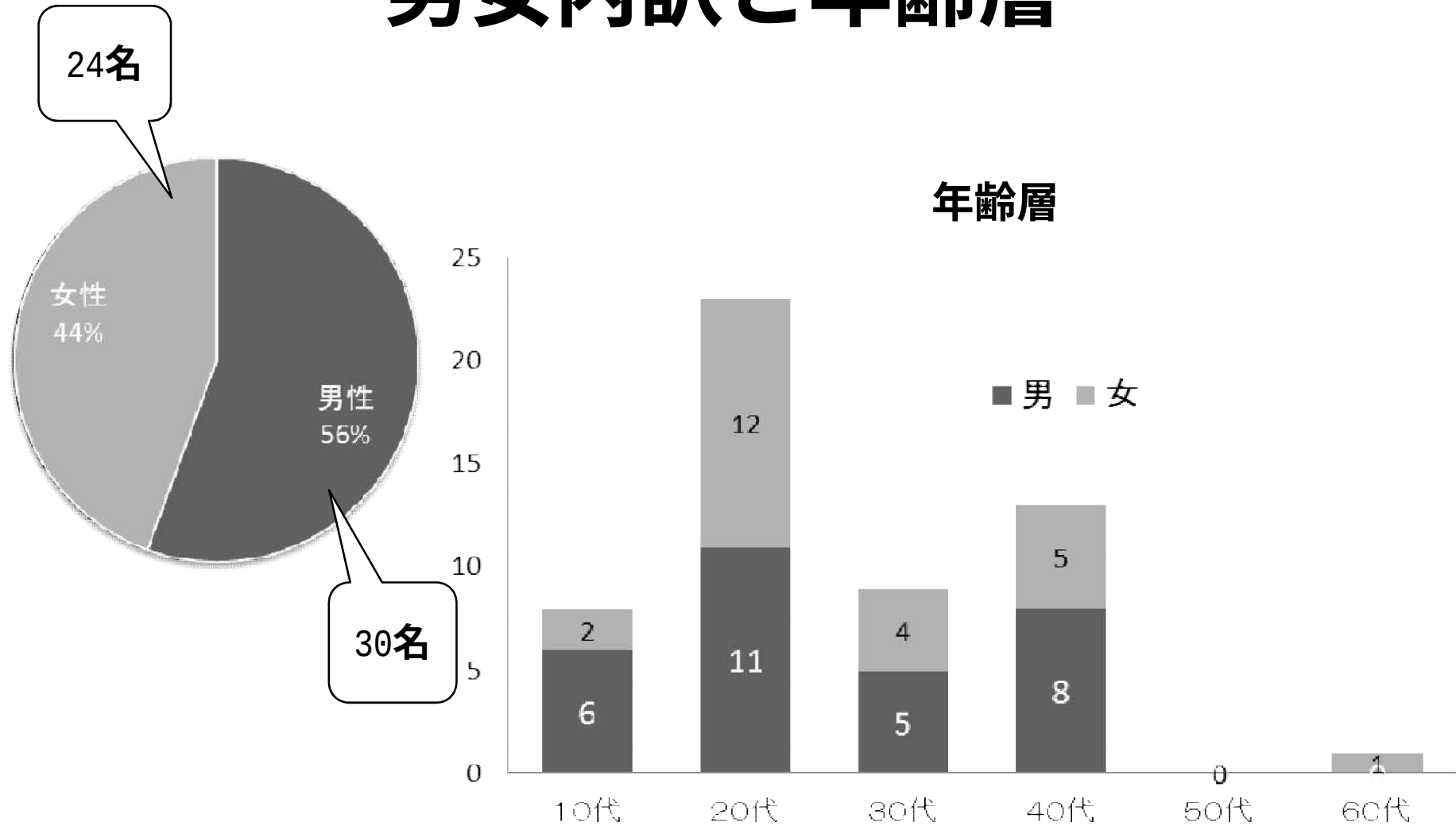
【2】平成27年度新規相談者の状況

①新規相談者数の変化

新規 相談者	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	相談者 合計
	37名	47名	63名	97名	82名	94名	89名	54名	563名



②新規相談者の 男女内訳と年齢層

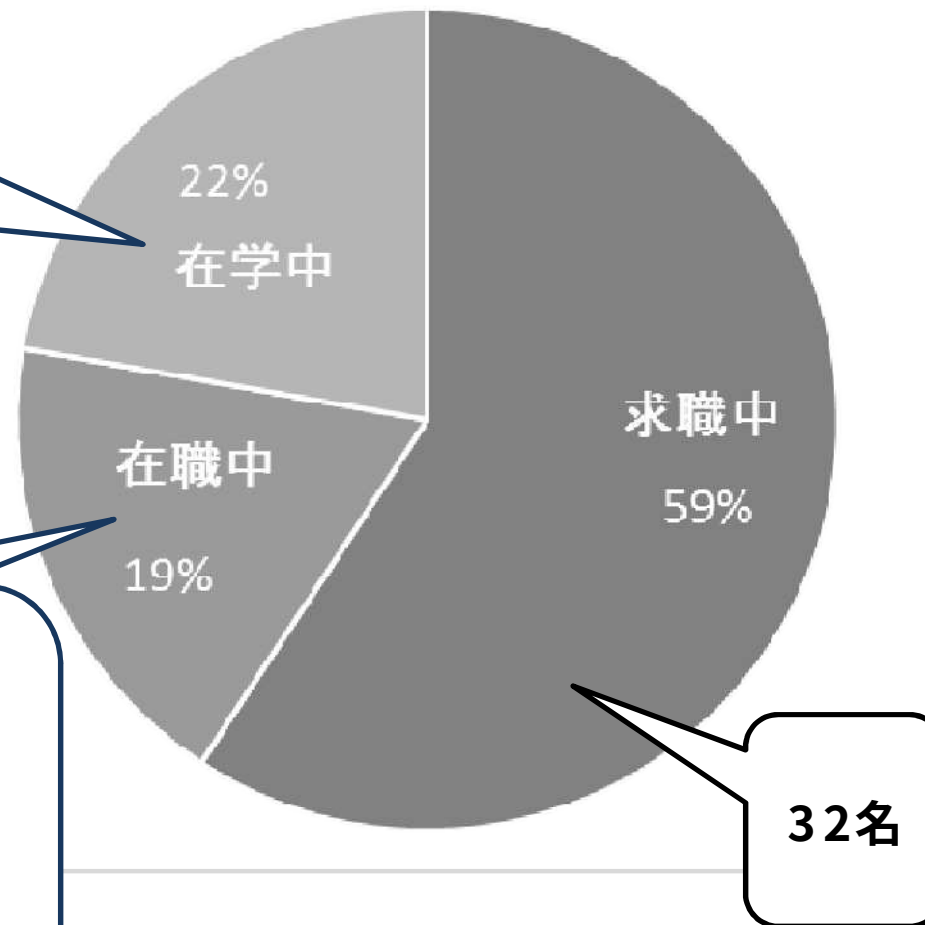


③新規相談時の状況

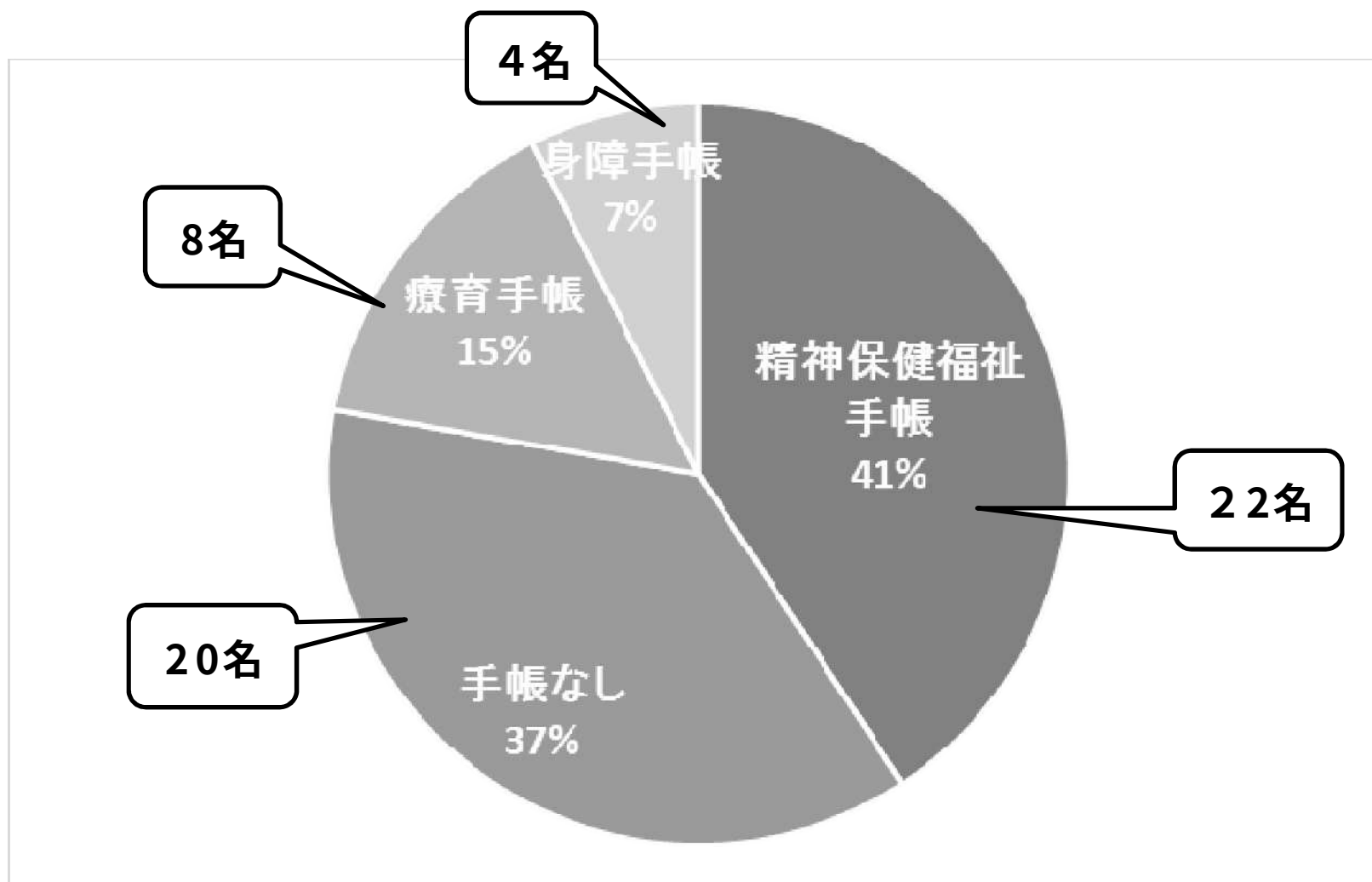
在学者 (12名) 内訳	
高等学校	5名
専門学校	4名
専修学校	1名
大学	2名
特別支援	0名

在職者 (10名) 内訳	
障がい者雇用	4名
一般雇用	6名
就労継続A型	0名

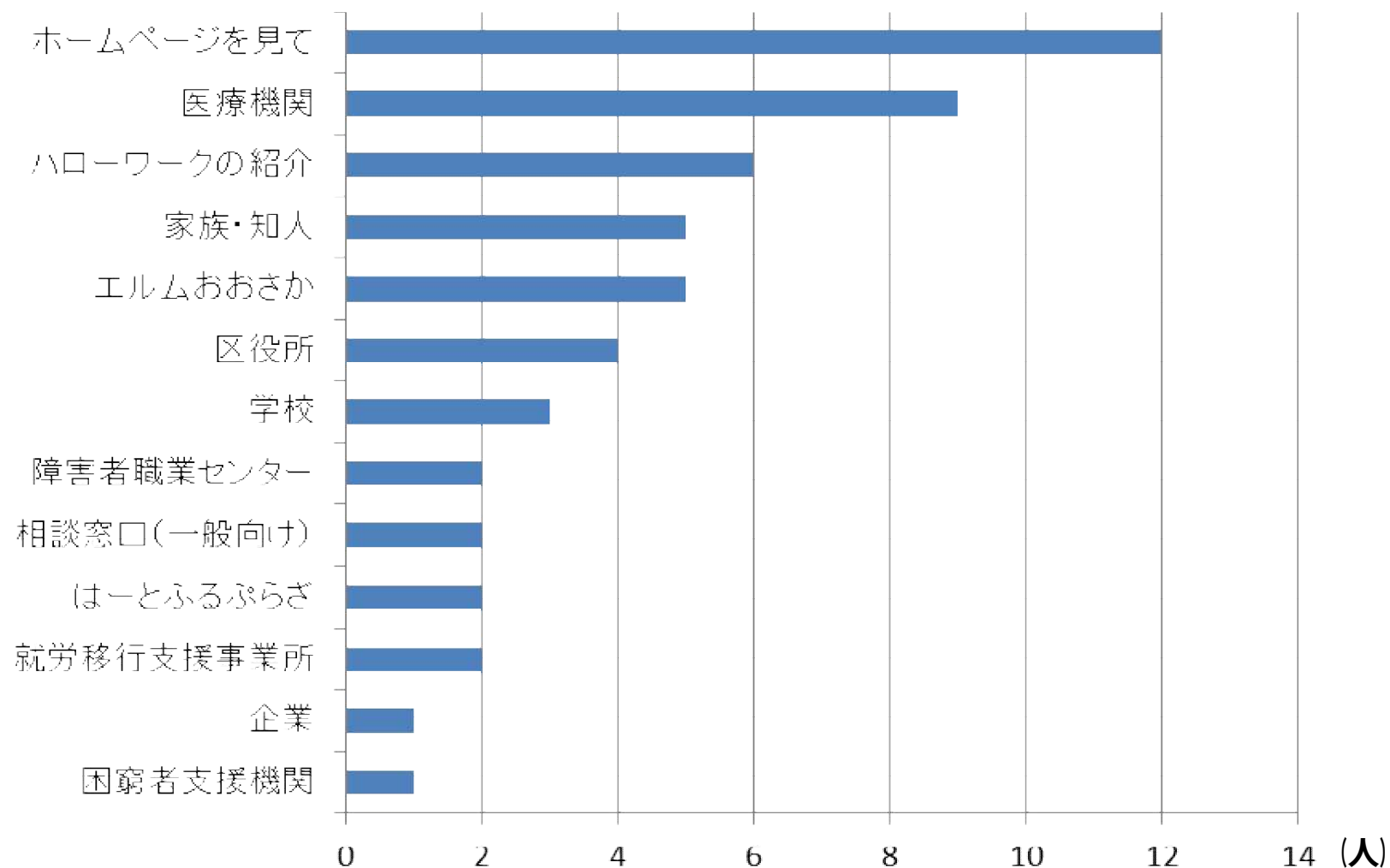
※一般雇用に休職中2名含む



④新規相談時に所持していた 障がい者手帳の種類



⑤新規相談者の相談経路 (どこから紹介されたか)



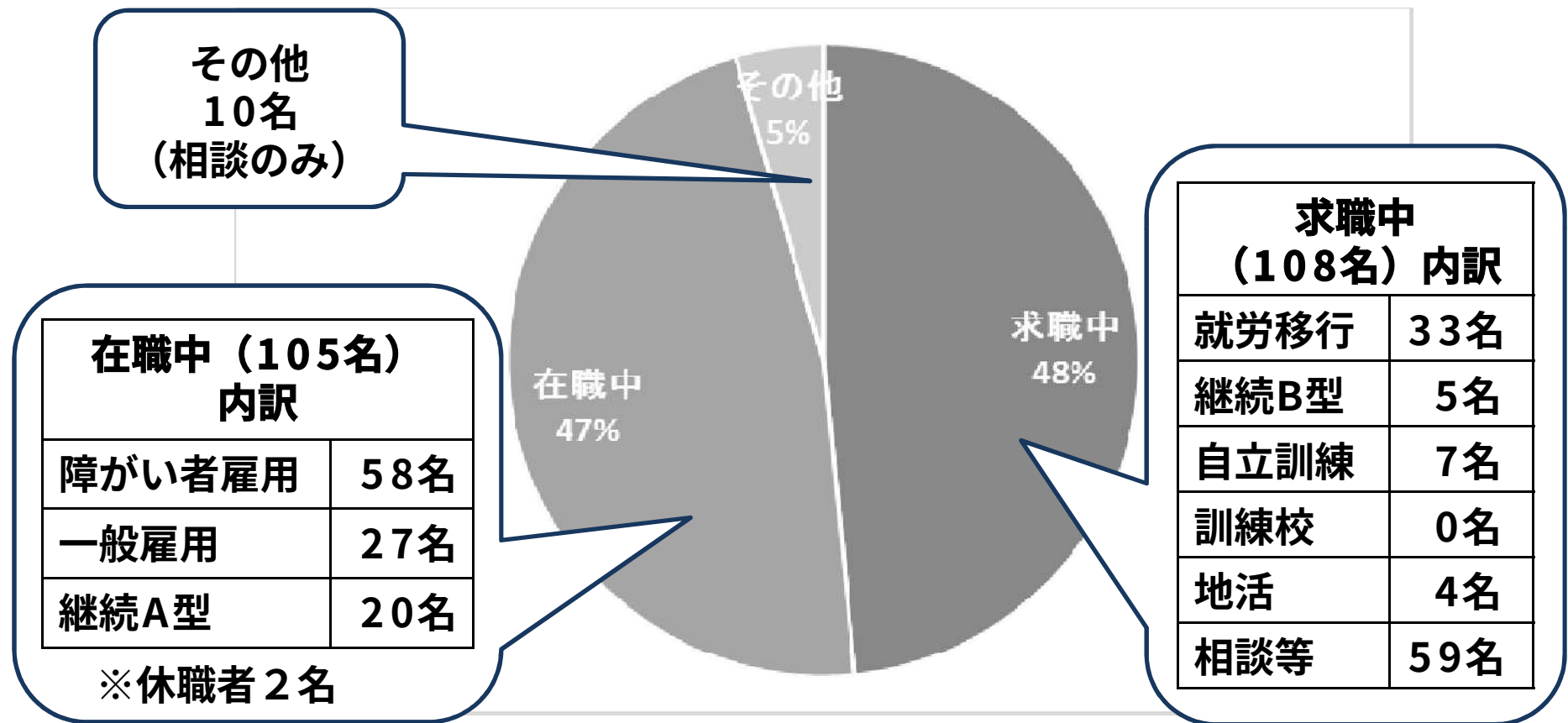
⑥新規相談者への関わり (どんな社会資源につながったか)

支援内容	支援人数 (のべ)
情報提供のみ（初回相談で終了）	19名
定期的な相談	18名
訓練施設の見学	18名
訓練施設の体験利用	10名
職業評価（障害者職業センター）	8名
会社見学	3名
訓練施設の利用（自立訓練）	3名
訓練施設の利用（就労移行支援）	2名
ハローワーク同行	2名
医療機関との連携	4名
発達障がい者支援センターとの連携	2名

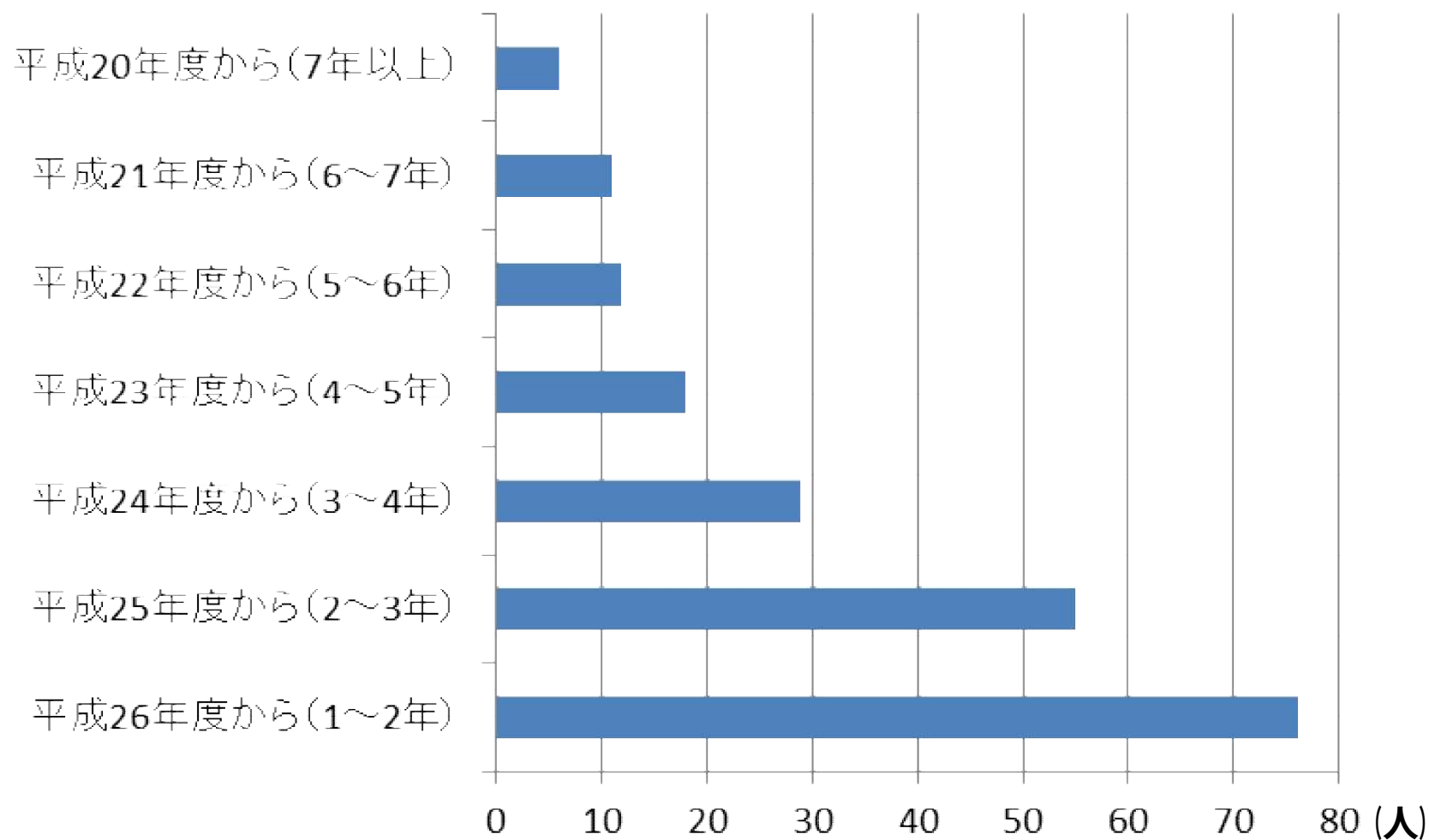
※ 新規相談者実人数54名中29名が就職準備プロセス（訓練等）に移行している

【3】 継続相談者の状況

継続相談者の 89% が障がい者手帳を所持している

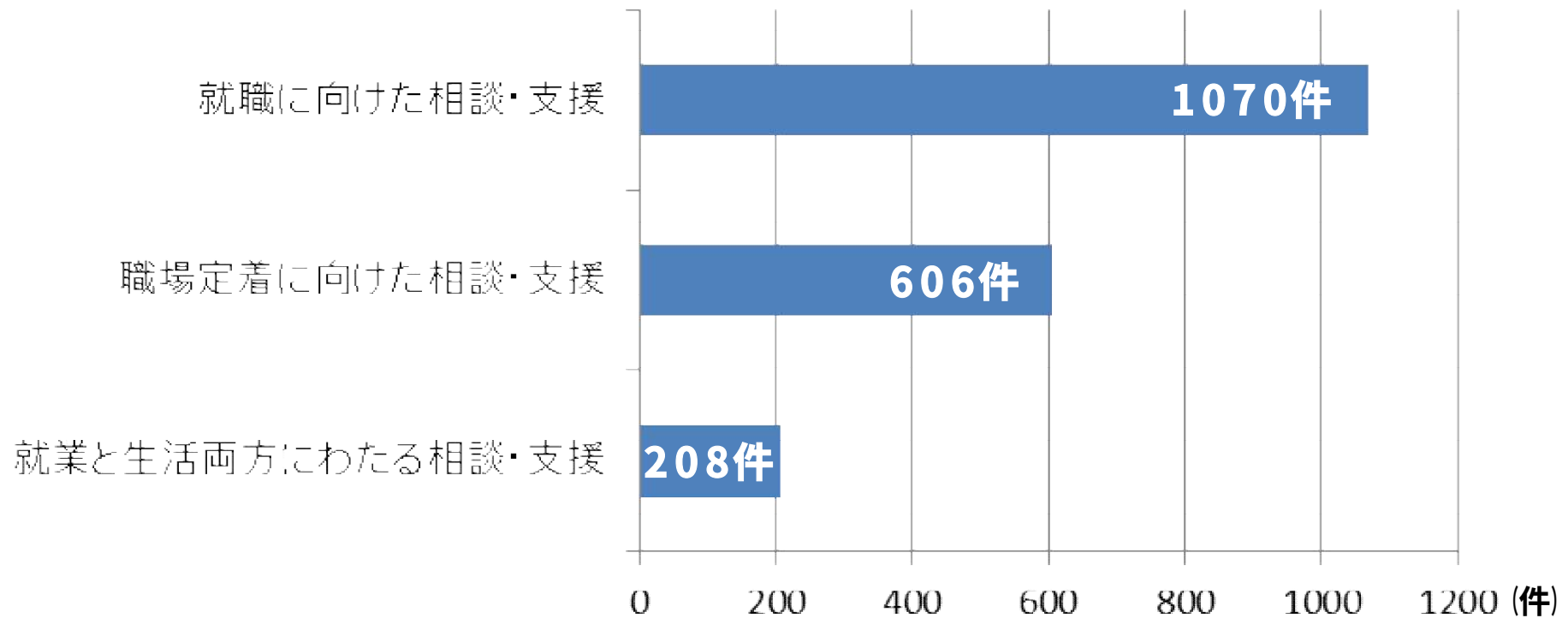


継続相談者の登録期間



【４】登録者への相談・支援 (登録者＝新規相談者＋継続相談者)

①相談・支援件数（内容別・延べ件数）



②相談・支援で連携した機関

就職に向けた 相談・支援	ハローワーク、障がい者職業センター 医療機関、はーとふるぷらざ、エルム、 区役所（福祉・生保・困窮者窓口等） 相談支援事業所、各種学校、一般向相談窓口 障がい者福祉サービス事業所 （就労移行、継続A・B、自立訓練等） 職業能力開発施設、体験実習先の企業など
職場定着に向けた 相談・支援	就職先企業（人事・現場担当者、産業医等） ハローワーク、障がい者職業センター 医療機関、相談支援事業所、 就労移行など職業訓練を受けていた機関 区役所（福祉・生保・困窮者窓口等）
就業と生活両方に わたる相談・支援	ハローワーク、障がい者職業センター 区役所（福祉・生保・困窮者窓口等） 相談支援事業所、訪問看護ステーション、 障がい者福祉サービス事業所 （ショートステイ、ヘルパー、ケアホーム） 医療機関、地域包括支援センターなど

③相談・支援件数（手段別・延べ件数）

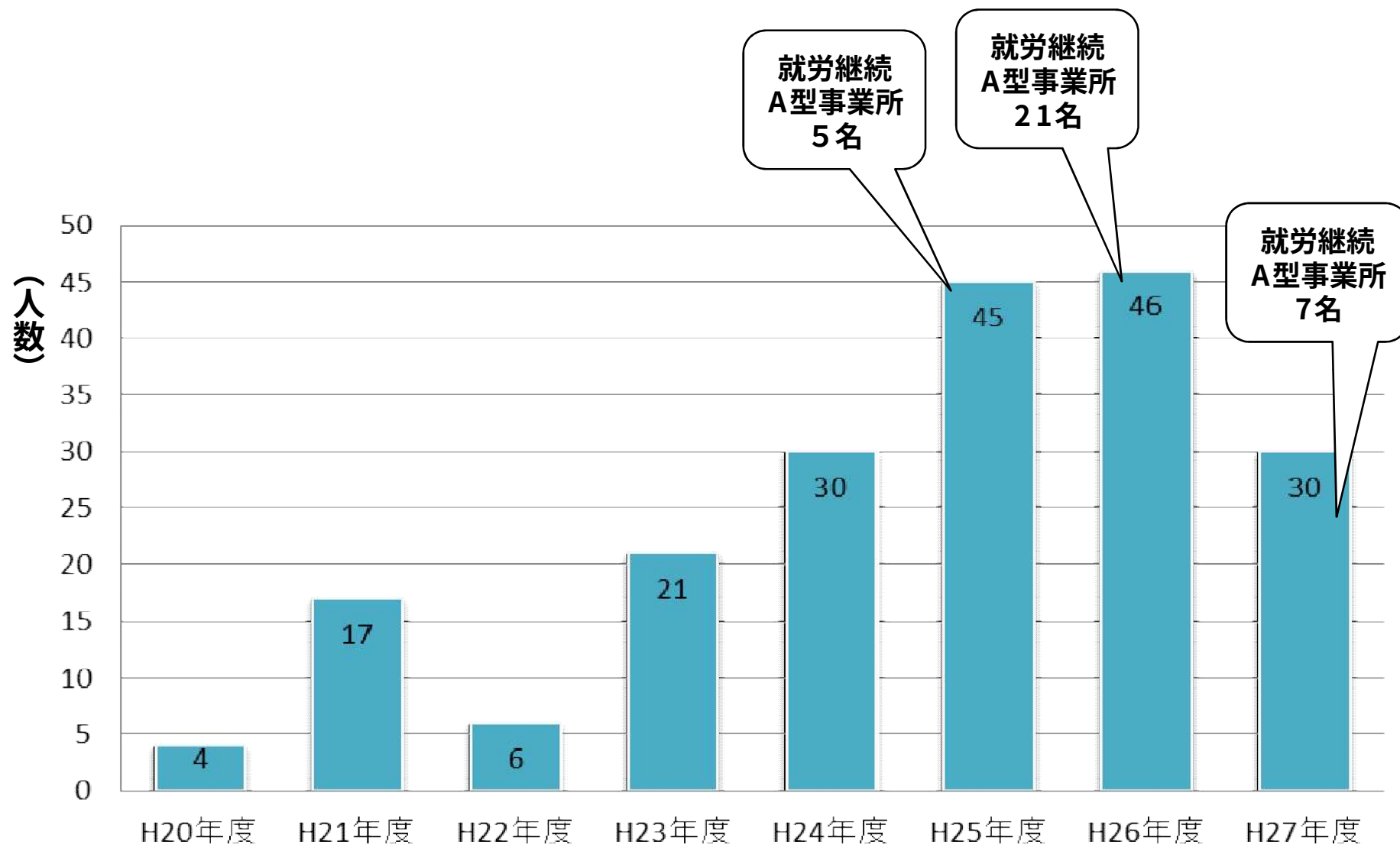
センターへの来所	347件
電話・FAX・メール	1064件
職場訪問（のべ訪問回数）	105件
家庭・入所施設への訪問	19件
その他 （ハローワーク・医療機関への同行、 区役所等での手続き支援、ケース会議等）	349件
合計	1884件

④職場定着支援・職場復帰支援

支援対象者（在職中の方）	113名
職場定着に向けた相談・支援 （来所相談、電話等、職場訪問、家庭訪問など）	606件
職場訪問件数（のべ）	75件
職場訪問実人数	24名

支援を実施した事業所	30件
来所	2件
電話（メール、FAX含む）	117件
職場訪問	40件
その他（ケース会議等）	3件

【5】登録者の就職状況



平成27年度 就職者一覧(発達障がい就労支援コーディネーター事業)

障害者 手帳	診断名	性別	年代	支援 開始年月日	採用日	退職日	就職まで に要した 期間(月)	職種・業種	週労働時間	相談経路	初回相談時の状況		利用した社会資源等
1 精神	自閉症スペクトラム	男	20	H25/11/15	H27/04/01		17	事務補助	30時間以上	区役所	在学中	専門学校3年生	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
2 精神	広汎性発達障がい	女	20	H26/6/6	H27/04/01		10	精密機器開発業務 (クローズ)	30時間以上	医療機関	在学中	大学4回生	定期的な相談
3 なし	自閉症スペクトラム	男	20	H23/10/31	H27/04/01		42	介護補助	30時間以上	一般向け就労相談窓口	在学中	大学1回生	定期的な相談
4 精神	アスペルガー症候群	男	20	H24/4/19	H27/04/13	H27/05/11	36	事務補助	30時間以上	親の会	求職中	若者向けの職業訓練受講中	職業評価(職業センター)
5 精神	広汎性発達障がい	男	50	H26/4/24	H27/04/14		12	調理補助	30時間以上	困窮者支援窓口	求職中	障害者手帳取得を機に相談	就労継続B型
6 精神	広汎性発達障がい	男	50	H25/4/23	H27/04/22		12	スーパーのカート整理	30時間以上	困窮者支援窓口	求職中	障害者手帳取得を機に相談	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター) ジョブコーチ
7 精神	広汎性発達障がい	男	20	H26/4/24	H27/06/01		14	大学キャンパス内清掃	30時間以上	ホームページ	求職中	仕事がうまくいかず障がいを疑い 相談	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター) ジョブコーチ
8 精神	広汎性発達障がい	男	20	H25/9/11	H27/06/15		21	大学キャンパス内清掃	30時間以上	ハローワーク	求職中	就職活動がうまくいかず相談	職業評価(職業センター) 就労移行支援
9 知的	広汎性発達障がい	女	20	H25/2/21	H27/08/01		30	ビル清掃	30時間以上	はーとふるぶらざ	在学中	高校(夜間)3年生	就労移行支援
10 精神	広汎性発達障がい	男	50	H24/4/24	H27/08/01		40	事務補助	20時間以上 30時間未満	一般向け就労相談窓口	求職中	就職活動がうまくいかず相談	定期的な相談
11 精神	アスペルガー症候群	女	30	H26/3/5	H27/08/04		17	保育園で保育補助 (クローズ)	20時間以上 30時間未満	医療機関	求職中	障がい者枠と一般枠を迷い相談	職業評価(職業センター)
12 知的	広汎性発達障がい	女	20	H22/9/3	H27/09/01		60	事務補助	30時間以上	医療機関	求職中	就職活動がうまくいかず相談	職業能力開発校 就労移行支援
13 知的	広汎性発達障がい	男	30	H23/1/7	H27/09/01		16	物流倉庫内作業	30時間以上	区役所	求職中	入院中。 退院後の就職活動について相談	就労移行支援 職場実習
14 なし	広汎性発達障がい	女	40	H27/4/21	H27/09/15		5	事務 (クローズ)	20時間以上 30時間未満	ホームページ	在職中(休職)	転職について相談	職業評価(職業センター)
15 精神	アスペルガー症候群	女	20	H24/3/2	H27/09/25	H27/10/19	3	放課後デイサービススタッフ (クローズ)	20時間以上 30時間未満	区役所	求職中	就職活動がうまくいかず相談	就労継続A型
16 精神	広汎性発達障がい	女	20	H26/4/11	H27/10/19		18	軽作業	30時間以上	ハローワーク	求職中	就職活動がうまくいかず相談	委託訓練 職業能力開発校
17 知的	自閉症スペクトラム	男	20	H23/2/14	H27/11/17		57	事務補助	30時間以上	はーとふるぶらざ	求職中	就職活動がうまくいかず相談	就労移行支援
18 精神	広汎性発達障がい	男	30	H26/8/26	H27/12/01		16	事務補助	30時間以上	医療機関	求職中	就職活動がうまくいかず相談	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
19 知的	広汎性発達障がい	女	40	H20/10/1	H27/12/14		3	清掃	30時間以上	エルムおおさか	在職中	一般枠で働いていたが、苦勞する ことが多く発達障がいを疑って相談	就労移行支援
20 精神	広汎性発達障がい	女	40	H27/7/7	H28/01/01		6	事務補助	30時間以上	障害者職業センター	求職中	職業訓練終了後の相談窓口として つながる	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
21 精神	広汎性発達障がい	男	40	H25/6/13	H28/2/25		32	倉庫内作業	30時間以上	区役所(生活保護担当)	求職中	困窮者支援機関の関わりあり 手帳を取得したので相談	就労移行支援

	障害者 手帳	診断名	性別	年代	支援 開始年月日	採用日	退職日	就労まで に要した 期間(月)	職種・業種	通労働時間	相談経路	初回相談時の状況		利用した社会資源等
22	精神	広汎性発達障がい	女	40	H27/7/6	H28/3/1		8	事務補助	30時間以上	ホームページ	在職中 (クローズ)	娘が発達障がいの診断を受けた際、自分自身の障がいに気づき相談。	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
23	精神	広汎性発達障がい	男	30	H27/10/26	H28/3/18		5	倉庫内作業	30時間以上	区役所	在職中 (クローズ)	幼少期に発達障がいの指摘あり 仕事が長続きしないため手帳申請	職業評価(職業センター)
24	精神	広汎性発達障がい	男	20	H24/2/2	H27/04/01		38	軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	就労移行支援	求職中	就労移行支援で訓練中	就労移行支援
25	知的	広汎性発達障がい	男	40	H25/4/11	H27/04/01		24	軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	就ボツ	在職中	支援機関の担当者との折り合いが悪くなったため、相談	就労移行支援 就労継続A型
26	精神	アスペルガー症候群	女	20	H24/3/2	H27/05/29	H27/06/08	1	軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	区役所	求職中	就職活動がうまくいかず相談	就労継続A型
27	精神	広汎性発達障がい	男	30	H27/2/13	H27/07/13		5	ホームページ作成等 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	就労移行支援	求職中	見学に行ったが断られ、就ボツを紹介された	定期的な相談
28	精神	広汎性発達障がい	女	20	H27/9/10	H27/10/26		1	軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	ハローワーク	求職中	専門学校を中退し、これから就職を探したい、と相談	定期的な相談
29	精神	広汎性発達障がい	女	50	H22/7/1	H27/11/09	H27/12/24	64	軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	相談支援	求職中	就職活動がうまくいかず相談	職業能力開発施設
30	精神	広汎性発達障がい	男	20	H25/2/14	H28/1/1		35	軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	ハローワーク	求職中	公務員を目指して専門学校に行く が授業についていけず中退	職業評価(職業センター) 就労移行支援

平成27年度「こころとからだのワークショップ」実施報告

1. 目的

発達障がいがある成人期の方たちが小グループで感情やそのコントロール方法、感情とからだのつながり等についてともに学び、からだを動かすことによるリラックス効果や楽しさを体験する、また、自分の得意・不得意について話し合う機会を設定することにより、就労するために大切な「健康維持」や「感情のコントロール」「自己理解」への気づきと日常での工夫実施のきっかけとすることを目指した。

2. 参加者

平成27年度、発達障がい者就労支援コーディネータおよび大阪市発達障がい者支援センターに就労を目的に相談来所され、まだ就労支援機関の利用に至っていない、成人期の知的障がいがない発達障がい当事者6名（在宅、男性2名・女性4名、20歳～32歳：平均年齢28歳）。女性1名は体調不良のため2回目より参加中止。

3. 実施頻度・場所

- ・実施頻度 … 1クール 10/9～1/26 午後2時～5時 連続6回（1～2回/M）
- ・実施場所 … 長居障がい者スポーツセンター

4. 方法・内容

- ・方法 … グループワーク（GW）＋からだを動かす体験
GW：ワークシート活用による学習、話し合い
からだを動かす体験：深呼吸、ストレッチ、リズム体操、軽スポーツなど
- ・GW内容…
 - 1回目 自己紹介、感情学習（よろこび・リラックス）、きっかけカード・楽しいことの本・コーピンググッズ（ストレスを感じた時に落ち着くために）の紹介
 - 2回目 感情学習（うれしい・リラックスした）（どんな時に・からだの状態）、感情修復ツール（きっかけカード：好きなものの写真など）の作成・紹介
 - 3回目 うれしいこと日記、感情学習（不安・怒り）（どんな時・からだの状態）、感情修復ツールの作成
 - 4回目 うれしいこと日記、きっかけカードを使ってみた感想、不安を減らすのに役立つ活動
 - 5回目 うれしいこと日記、感情修復ツールを使ってみた感想、脳内ホルモンの話、感情修復ツール（ツールボックス）の作成
 - 6回目 うれしいこと日記、感情修復ツール（ツールボックス）を使ってみた感想、マイナス⇒プラス変換ワーク

5. 効果検証

① アンケート結果（毎回参加者全員に実施）など

各回とも、GW・からだを動かす体験の役立ち度・理解度の評価は、4段階評価で3（役に立った・わかりやすかった）または4（とても役に立った・とてもわかりやすかった）であった。

② 実施後の感想（抜粋）

- ・自分の感情を整理するために書きとめることは大切だと思った。
- ・自分がなぜ感情のコントロールが苦手なのかがよくわかった。
- ・ツールボックスを活用できて良かった。 ・他の人の話や考えがきけて良かった。
- ・笑いながらからだを動かして気持ちが軽くなった。
- ・音楽を流してのストレッチポールはとてもリラックスできて心地よかった。
- ・とても充実した時間だったので終わるのが残念。 ・楽しかった。 ・とてもわかりやすく満足。

☆参加者5名全員が自分仕様のツールボックスを作成し、不安な場面で実践して効果を実感された。

③ その後

- ・参加者5名中4名は年度中に、残る1名も次年度春に、生活訓練施設の利用へとつながった。
- ・3月にアフターフォロー実施。施設通所でストレスが募る中、ツールボックスを継続活用されていた。

平成２７年度「発達障がいがある学生の就労準備支援事業」試行実施報告

１．目的

大学や専門学校を卒業後、社会との繋がりが持てないまま無業状態に陥り相談来所する成人期の方の中には、アルバイトなどの就業経験がなく、卒業後の進路としての就業のイメージが持てず就職活動がうまくいかなかった事例が多い。今回は、学生支援室や進路指導担当部との連携のもと発達障がいがある学生が在学中に発達障がいの特性をふまえた講座や企業での実習体験を含む就労準備支援プログラムに参加することにより、就業イメージを持つこと、就労意欲を向上させること、各自に合った職業の選択を考えるきっかけとすることとし、困った時の対応や工夫を知り就労に向けた課題整理をおこなうきっかけとなることをめざす。また、学生支援者が発達障がいへの正しい理解と適切な対応への工夫を知り、障がい特性に配慮しながら進路指導等をおこなうための一助となるよう、また、結果として卒業後の無業状態を回避することを目指した。

２．対象者（大阪市民）

事例１：連携する大学に在学中の発達障がいがある学生

大阪市立大学工学部４回生１名 ＜試行実施＞

（男性、２２歳、成人後診断「広汎性発達障がい」、バイト経験あり、一般企業での就職を希望）
：「企業実習」を経験したいとのことでプログラム参加希望。第１クールに参加。

事例２：他大学に在学中の発達障がいがある学生

関西大学システム理工学部４回生１名 ＜試行実施＞

（男性、２８歳～２つ目の大学、６年前に「アスペルガー症候群」と診断、バイト経験あり、一般企業での就職を希望）：全プログラムに参加を希望。第２クールに参加するが、臨床検査技師の専門学校に合格が決まり、「企業実習」には参加しないこととなった。

＊２８年３月の春休み期間実施プログラムへの参加者の学内選定を連携大学の学生支援室に依頼したが、対象となる学生がいなかったため他大学の学生支援室にアナウンスし、利用に至った。

３．実施時期・場所・スタッフ

- ・実施時期…第１クール：１０月～１１月、第２クール：３月
- ・スタッフ…エルムおおさか、サテライトオフィス平野、長居ＳＣ
- ・実施場所…就労移行支援事業所（サテライトオフィス平野）、長居障がい者スポーツセンター、協力企業（実習）

４．試行実施までの調整

６月 連携先大学の選定および実施計画について協議

（エルムおおさか、発達障がい者就業支援ＣＯ、サテライトオフィス平野、福祉局担当職員）

６月 連携先大学（大阪市立大学）との実施協議を開始

７月～ 連携先大学学生支援室による学内アナウンス、学内での対象者選定

１０月 事前面談（ニーズの聴取）、体験受入れ企業への説明・獲得

学内説明とともに教職員向け「実践講座」を計画（日程の関係から２８年度に実施予定）

５．実施スケジュール

第１クール：（日程調整しながらの実施、＊本人の希望により作業実習はなし）

１０月 個別面談（ニーズ聴取、日程相談）… 学生支援室スタッフ同行

１日目：ガイダンス、基礎講座「感情のコントロール」「社会人マナー講座」

２日目：基礎講座

「ストレスマネジメント」「エントリーシートの書き方講座」「自己理解セミナー」

１１月 ３日目：企業見学

４～６日目：企業体験 ３日間（含 企業での実習振り返り）

７日目：ふりかえり・課題整理…（大阪市立大学にて本人、担当教官、学生支援室、当スタッフ）

第2クール：(日程・内容ともにニーズに応じて調整しながら実施、*進学のため「企業実習」は中止)

3月 個別面談(ニーズ聴取、日程相談)

1日目：ガイダンス、基礎講座「自己理解セミナー」

2日目：基礎講座「FT: Face Training」「ストレスマネジメント」

作業実習「エクセル①(3級レベル)」

3日目：基礎講座「SST(会社内での場面設定)」

作業実習「エクセル②(2級レベル)」「プログラミング①(C言語)」

4日目：基礎講座「エントリーシートの書き方」「自己理解プログラム」

作業実習「簿記3級」

5日目：ふりかえり・課題整理…(卒業後、エルムおおさかにて本人、当スタッフにて)

6. 効果検証

1) 事例1：

- ・本人アンケートでは、個々のプログラム内容についても、プログラムに参加したことについても、すべて「参加してよかった」「役に立った」との評価であった(理解度・役立ち度ともに4点尺度で平均)。特に、希望していた「企業実習」については、本人の得意なコンピュータソフト分野での仕事であったこともあり、「指示した仕事がよくできていた」との企業側の実習評価に、「働く」ことへの自信を持つことができた、との感想を得た。
- ・支援者からの聴取では、学生のプログラム参加について「働く」ことへの自信が持てたこと、「ストレスマネジメント」のきっかけを知ったこと等には一定の評価を得た。ただし、話し合いの中で、本人の希望と状態を考えれば就職先は特殊な分野での一般雇用の就職をまずは目指す段階が必要であるとの結論に至り、就職先を探すのは大学研究室に負うところが大きい現状を再認識されることとなった。

2) 事例2：

- ・本人アンケートでは、個々のプログラム内容についても、参加したことについても、すべて「参加してよかった」「役に立った」との評価であった(理解度・役立ち度ともに4点尺度で平均4)。特に、作業実習「エクセル」「簿記」「プログラム(C言語)」については、これまで独学で学んだためにわからなかった内容が解明されたと同時に、ワープロがそこそこできることを実感する機会となったとの感想を得た。基礎講座にも積極的に参加
- ・支援者については、卒業前後の時期でのプログラム参加であったこと、卒業後の進路が決まったこと、エルムおおさかにはすでに個別相談済みであったこと等で、学生紹介と参加報告までの関わりとなった。

7. 今回の試行実施において見られた課題

- ・対象者・実施時期など：大学側より、「4回生は卒論や就活で忙しいため、対象を3回生にした方が参加しやすいかもしれない」との意見をいただいた。また、夏休みや春休みもアルバイト、授業等で忙しい大学生の実態もわかり、プログラムの実施方法や実施時期を再考する必要があることがわかった。
- ・基礎講座：1回ずつの講座であるため、「ストレスマネジメント」等は効果を十分に実感していただけないままに終わった講座もあり、就労準備支援プログラム終了後も日常生活で役立てていただけるような仕組みを考える必要性を感じた。
- ・作業実習：事例1は、本人の希望で作業実習をスキップしたが、施設内での作業実習を通した評価はより具体的に得意・不得意等について実感していただくためには必須の過程であると思われた。
- ・企業実習：障がい者雇用で連携している企業に協力していただいたの実習であるため、今回のようにクローズドで働くことを希望している場合は、一般の職場での体験にはなり難いところが課題である。
- ・大学：指導教官の先生方は、障がい者雇用を考えるべきか否か等、プログラム参加後に方向決定できればと思っておられた様子である。障がい者雇用での就労条件(一般雇用に比べて平均的に低い給与体制など)について説明したところ、苦手さのトレーニングでより良い一般企業を目指せないか、との質問もあった。事例1の場合は特殊な専門領域であるため、本人の能力を活かせる就職先は研究室への求人や教授からの紹介に頼るところが大きく、一般の就職活動でも難しい状態にある。ただ、卒業後、発達

＜資料4＞

障がい者に特化した就労移行支援事業所や職業トレーニングの施設を活用するになったとしても、就職先が本人のニーズに合うか否かが問題になってくるものと思われ、環境次第で一般雇用も可能と思われる事例1のような学生については、大学内の支援者がさまざまな進路を想定する必要がある。そのためにも、大学内の支援者の方たちに、具体的なケースを通して障がい者雇用や就労支援システムの良さについて知っていただくとともに、一般企業の中で特性に配慮しつつ能力を発揮してもらえるようなシステム作りをしている職場を開拓・情報収集し、情報提供していく必要を大きく感じた。

「専修学校等学生・進路担当者向け出前講座等」について

近年、大学・専修学校を卒業後、進路としての就業のイメージが持てず就職活動がうまくいかなかった事例や、就職はしたものの職場環境や仕事に対応できず不適応を起こし離職するといった事例が増加しており、大学・専修学校等の学生支援担当等の支援者から、就職の前段階である在学中における発達支援を求める声が多くあがっている。また、このような方々が相談に訪れる就労支援に関連する福祉サービス事業所や相談支援事業所が多く開業されている中、相談や具体支援における質の担保が課題となっている。

これらを踏まえ、大阪市では、平成 27 年度から、大学・専修学校等に在学中の発達障がい（疑い含む）がある方及び学生支援担当者等に対し、自己理解や発達障がいの特性を踏まえた対応や工夫に関する講座や「しごと体験」等を実施し、後に訪れる就職活動や職場生活の中で生じる課題への対応方法を知る機会を提供する事業を実施した。

また、大学に限らず、専修学校等で発達障がいのある学生が在籍している学校等の教職員・家族等へも「発達障がい理解講座」「社会支援と活用」といった内容での「出前講座」を積極的に実施し、学校在籍中の段階から発達障がいの正しい理解、支援の工夫や社会資源利用ノウハウ等を広く発信し、学生への就労準備支援の一環として取組んだ。

■ 実施概要

種 別	開催場所等	参加者	来場数	内 容
高等専修学校	東朋高等専修学校 (出前講座)	在校生・家族・教職員・ 支援事業者・行政関係者	2 1 6	基礎講座（理解と支援） 社会資源と活用 (体験実習等の紹介)
専門学校	大阪医療福祉専門 学校 (出前講座)	家族・専門学校教職員	2 7	就労支援準備に関する 講座（基礎講座）
定時制高校	都島第 2 工業 (出前講座)	教職員	1 6	基礎講座（理解と支援）
定時制高校	桃谷高校定時III (出前講座)	教職員	3 8	基礎講座（理解と支援）
普通校 支援学校	東住吉支援学校 (出前講座)	教職員	4 8	基礎講座（理解と支援） 社会資源と活用
普通校 支援学校	大阪教育付支援 (出前講座)	教職員	1 2	基礎講座（理解と支援） 社会資源と活用
普通校 支援学校 専門学校	中央区民センタ- (学校指定合同講座)	在校生・家族・教職員・支 援事業者・行政関係者	7 8	基礎講座（理解と支援） 社会資源と活用 (体験実習等の紹介)
支援学校	思斉支援学校 (出前講座)	在校生・教職員	2 5	基礎講座（理解と支援）

【受講者の感想・意見】

■学生・家族

- ・地域の支援事業の枠組みを知ることができた。
- ・様々な社会資源があることを知ることができ、企業の体験や実習に参加してみようと思った。
- ・学校では「選べるだけの選択肢」の提示がなく困っていたが、色々な場があるということは心強く思った。

■支援者

- ・改めて新しい気づきや今まで知らなかった支援内容を知ることができた。
- ・これまでの取り組みや知らない知識が得られた。各事業所担当者の熱意や想いを聞け、勉強になった。
- ・就職後のフォローなどがどのようなものか等を聞くことができたのもっと良かったと思う。

セミナー等講演会・障がい者就労支援フェスタ実施状況について

【目的】

講演等を通じ、発達障がいに関し、より多くの企業担当者・関係機関・支援者等に、正しい理解や支援の工夫等の支援ノウハウを広く発信し、理解を深めていただくとともに、支援地域における支援ネットワークの構築を目指す。

派遣先	対象者	参加者数	内 容
発達障害者雇用支援連絡協議会 (大阪障害者職業センター主催の会議)			協議会委員として参加（年 2 回）
日本アルコール関連問題 ソーシャルワーカー協会 関西支部（月例会）	医療機関のケースワーカー、福祉サービス事業所の支援員	40	講演 「発達障がいと障がい者就労～障がい者就労支援の入口で行っていること～」
医療福祉学院 (作業療法士学科)	作業療法士科 2 年生	25	講義 「発達障がい者の就労支援の実際」
第 48 回 自閉症診療セミナー	精神科医師、小児科医師、心理士、教員、保健師	30	講演 「素敵な大人になるために ～社会との付き合い方～：就労」
大阪市教育委員会インクルーシブ教育推進担当（教育相談・研修）主催講座	市内全学校園の特別支援教育コーディネーターのうち、校長推薦を受けた受講希望の教員	50	発達障がい専門講座 「就労支援とキャリア教育について」
ひきこもり・家族支援ネット（定例会）	保護者	4	定例会講師 「障がい者就労支援について」
障がい者就労支援フェスタ		208 (97 機関)	当事者の体験談 シンポジウム 障がい者就労企業の紹介

【受講者の感想・意見】

- ・具体的な事例が正に直面している課題であったので非常に参考になった。
- ・就労支援機関の様々な取り組みを知ることができ、今後の進路選択の幅が広がりそうだと期待を持った。
- ・障がいの正しい理解がまず必要で、その上で本人の行動の意味や気持ちを丁寧に汲み取って、本人の思いを尊重して支援をしていかなければいけないと感じた。
- ・発達障がいといっても症状は様々で、できること・できないこと・やり方によってできることがあるので、雇う側の正しい理解・協力も大切だと思った。
- ・当事者の体験、支援者のかかわり、企業側の思いなど、それぞれの立場からの生の声を聞くことができる貴重な機会であった。

地域就ポツとの事例・情報共有勉強会実施状況（平成27年度）

実施月	情報共有・検討内容	対象
5月	コーディネーター事業の内容とその活用（周知）	大阪市内就ポツ7センター
6月	相談支援状況について（情報共有）	大阪市内就ポツ7センター
7月	相談支援状況について（情報共有）	大阪市内就ポツ7センター
8月	威嚇・暴言・対人依存傾向のあるケースの対応	東部センター
9月	ひきこもり当事者・家族の課題（勉強会参加報告）	大阪市内就ポツ7センター
10月	アルコール依存傾向のある人への生活支援および医療との連携	大阪市内就ポツ7センター
11月	休職と復職を繰り返すケースの対応 医療、職場、支援機関との調整	大阪市内就ポツ7センター
12月	威嚇・暴言・対人依存傾向のあるケースの対応	大阪市内就ポツ7センター
1月	相談支援状況について（情報共有）	大阪市内就ポツ7センター
2月	両親を急に亡くしたケースの職場定着支援および生活支援	南部センター 大阪市内就ポツ7センター
3月	生活支援の調整方法について	南西部センター

<資料 8 >

大阪市障がい者就労支援フェスタ

資料 (粹)

(発達障がい者の就労支援に関する支援機関の手引き、参考資料)

就労移行支援について

しゅうろう い こう し えん おも ないよう
就労移行支援の主なサービス内容

いっばんしゅうろうなど い こう む じぎょうしよない きぎょう さぎょう じっしゅう てきせい
一般就労等への移行に向けて、事業所内や企業における作業や実習、適正に
あ しよくば さが しゅうろう ご しよくば ていちゃく し えん
合った職場探し、就労後の職場定着のための支援。

つうしよ げんそく こ べつ し えんけいかく しんちよくじょうきよう おう しよく ば ほう
通所によるサービスを原則としつつ、個別支援計画の進捗状況に応じ、職場訪
もんなど く あ し えん
問等によるサービスを組み合わせた支援。

り ようしや ひょうじゅんきかん ねん かげつ ない り よう
利用者ごとに、標準期間2年(24ヶ月)内での利用

しゅうろう い こう し えん り ようしや
就労移行支援の利用者

いっばんしゅうろうなど き ぼう ち しき のうりよく こうじょう じっしゅう しよく ば さが など つう てきせい
一般就労等を希望し、知識・能力の向上、実習、職場探し等を通じ、適正
しよく ば しゅうろうなど み こ かた さい み まん かた
にあった職場への就労等が見込まれる方(65歳未満の方)

たと
例えば

き ぎょうなど しゅうろう き ぼう かた
企業等への就労を希望する方

ぎ じゅつ しゅうとく ざい たく しゅうろう き ぎょう き ぼう かた など
技術を習得し、在宅で就労・起業を希望する方 等

しゅうろう い こう し えん なが
就労移行支援の流れり ようけいやく
利用契約そ ーだん けんがく
相談・見学
たいけん りよう
体験利用

おも しせつない
主に施設内・
きそ
基礎トレーニング
てきせい
適正や課題の把握

おも しせつがい しよくば じじゅう
主に施設外・職場実習

きほうしよくかつたう
求職活動しゅうしよく
就職

アフターフォロー

しゅう ろう い こう し えん ねん
就労移行支援～2年

○移行支援事業以外の就労系福祉サービス事業

	事業名	内 容 ・ 位置づけ
訓練等給付	自立訓練 (生活)	○入浴、排せつ、食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談および助言などの支援 ○入所施設・病院を退所・退院後、支援学校卒業後の方
	就労継続支援 A型	○雇用契約に基づく継続的な就労支援 (利用期限なし) ○更に企業就労、生産活動、その他活動の機会の提供、知識及び能力の向上のために必要な訓練
	就労継続支援 B型	○通常の事業所に雇用されることが困難な方、もしくは就業にはある程度の時間的配慮が必要な方 (移行事業によるアセスメントに基づく判断必要：利用期限なし) ○生産活動、その他活動の機会の提供、その他、働き続けるために必要な知識及び能力の向上のための訓練
給付介護	生活介護	○入浴、排泄、食事棟の介護、創作的生産活動、生産活動の機会の提供等を通じた身体機能または生産能力の向上
支援事業 地域生活	地域活動支援センター	○創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進その他の厚生労働省令で定める便宜を供与

福祉サービスを利用するためには

～受給者証の取得～

利用申請から受給者証の取得まで

福祉サービスを利用するためには受給者証が必要です

窓口

居住地の福祉事務所または市町村障がい福祉担当課

申請

☒ 窓口にて申請

☒ 利用する事業所が決まっている方がスムーズ

持ち物

☒ 印鑑

☒ 障がい者手帳

(医師の診断書、自立支援医療受給者証でも可)

認定
調査

☒ 認定調査員によるご本人の障がいの状況などの聞き取り

☒ 場所、誰が付き添うかは要相談

受給者証
取得

☒ 申請から取得まで約1～2か月が目安

☒ 利用する事業所と利用契約へ

自己負担金について

生活保護	生活保護受給	0円
低所得	市町村民税非課税	
一般 1	居宅で生活する障がい者で 所得割16万円未満	9,300円
	居宅で生活する障がい児で 所得割28万円未満	4,600円
一般 2	「一般1」以外の方	37,200円

所得を判断する範囲

障がい者本人を基本とし配偶者がいる場合は本人+配偶者の所得

収入の確認

給与所得控除後の金額、障がい基礎年金等

平成25年度版 福祉のてびき(本編)

しょう しゃしゅうぎょう せい かつ し えん 障がい者就業・生活支援センターについて

しょう しゃしゅうぎょう せい かつ し えん 障がい者就業・生活支援センターとは

- しょう かつ はたら かん なや かいけつ て つだ
障がいの有る方の「働くこと」に関する悩みについて、解決できるようにお手伝いします
- しょうがいしゃしゅうぎょう ち いき し えん き かん きょうりよく し えん おこな
ハローワーク、障害者職業センター、地域の支援機関と協力しながら支援を行います
- とうろく そうだん ひ よう むりよう こうつう ひ じ こ ふ たん
登録・相談費用は、無料です（※交通費などは、自己負担です）

しょう しゃしゅうぎょう せい かつ し えん やくわり 障がい者就業・生活支援センターの役割

- し ごと つ し えん
仕事に就くための支援
- しゅうしょくかつどう し えん し ごと しょうかい おこな
就職活動の支援（※仕事の紹介は行っていません）
- なが はたら つづ し えん
長く働き続けるための支援
- しょう しゃ こ よう き ぎょう
障がい者を雇用する企業へのアドバイス

り よう かつ ご利用いただける方

- おおさか し ない す かつ
大阪市内にお住まいの方
- げんそく しょう しゃ て ちょう も かつ
原則、障がい者手帳をお持ちの方
- かいしゃ はたら き ぼう かつ
会社で働くことを希望している方
- しょう しゃ こ よう はたら かつ
障がい者雇用で働かれている方

り よう ご利用について

り よう
利用するためには、どのような手続きが
ひつ よう
必要ですか？

- ① センターでん わ そうだん し えん き ぼう れんらく
センターに電話かFAXで相談、支援希望の連絡
 - ② めん だん にち じ ちょうせい
面談日時の調整
 - ③ めん だん にくわ き と
面談にて詳しく聞き取り
- ※ ちやくせつ し えん き ぼう かつ とうろく
※直接支援を希望される方は、センターに登録

じ ぶん し ごと む
自分にはどんな仕事に向いているのか、
おし
教えてくださいか？

しょうがいしゃしゅうぎょう しゅうぎょうひょうか う
障害者職業センターの職業評価を受けることで、
し ごと む し
どんな仕事に向いているのかを知ることができます。
しゅうろう し えん し せつ くん れん とお し
また、就労支援施設での訓練を通して、知るこ
ともできます。しょうがいしゃしゅうぎょう しゅうろう し えん し
障害者職業センターや就労支援
せつ し えん しゃ どう こう
設へは支援者が同行します。

しょう しゃきゅうじん き ぼう しよくしゅ すく
障がい者求人には、希望の職種が少ないです。
どうすればよいですか？

いっばんきゅうじん じ ぜん て ちょう つた き ぎょう
一般求人に事前に手帳のことを伝え、企業がOK
であれば応募することもできます。しょう しゃきゅうじん
いっばんきゅうじん りょうほう かんが
と一般求人の両方で考えることができます。

げんざいはたら そうだん
現在働いていますが、相談できますか？

はたら かつ そうだん う つ
はい。働かれている方の相談も受け付けていま
しよくば じょうし はな こま
す。職場の上司には話しにくいことや困っているこ
となど、ご相談ください。

センター所在地

1

とうぶ いききょう しやしゅうぎょう せいかつ し えん
東部地域担当障がい者就業・生活支援センター

〒543-0026

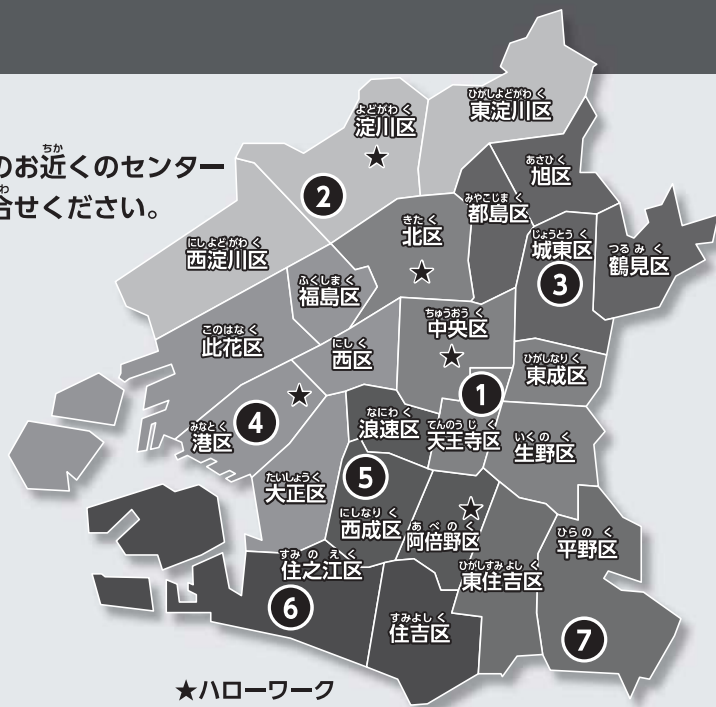
おおさか し てんのう じく とうしゅうぎょう ばん ごう
大阪市天王寺区東上町4番17号

(大阪市立中央授産場内)

TEL 06-6776-7336 FAX 06-6776-7338



お住まいのお近くのセンター
までお問合せください。



★ハローワーク

2

よどがわ ちいきしやう しやしゅうぎょう せいかつ し えん
淀川地域障がい者就業・生活支援センター

〒532-0013

おおさか し よどがわ く き かわに し ちやうめ ばん ごう
大阪市淀川区木川西4丁目5番40号

(淀川暖気の苑内)

TEL・FAX 06-6885-7911



3

ほくぶ ちいきしやう しやしゅうぎょう せいかつ し えん
北部地域障がい者就業・生活支援センター

〒536-0003

おおさか し しょうとうく いまふくみち ちやうめ ばん ごう
大阪市城東区今福南1丁目2番24号

(今福事業所内)

TEL 06-6955-9921 FAX 06-6933-0737



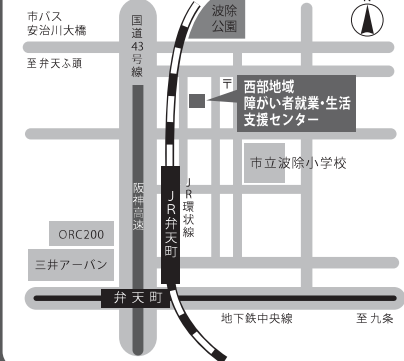
4

せいぶ ちいきしやう しやしゅうぎょう せいかつ し えん
西部地域障がい者就業・生活支援センター

〒552-0001

おおさか し みなとく なみよけ ちやうめ ばん ごう
大阪市港区波除5丁目8番9号

TEL 06-4393-3600 FAX 06-4393-3770



5

ちやうぶ ちいきしやう しやしゅうぎょう せいかつ し えん
中部地域障がい者就業・生活支援センター

〒557-0061

おおさか し にしなりく きたつ もり ちやうめ ばん ごう
大阪市西成区北津守3丁目6番4号

(総合就労支援福祉施設にしなりWing内)

TEL 06-4392-9089 FAX 06-4392-8710



6

なんざいぶ ちいきしやう しやしゅうぎょう せいかつ し えん
南西部地域障がい者就業・生活支援センター

〒559-0023

おおさか し すみの えく いずみ ちやうめ ばん ごう
大阪市住之江区泉1丁目1番110号

(大阪市職業指導センター内)

TEL 06-4702-5757 FAX 06-6685-8064



7

なんぶ ちいきしやう しやしゅうぎょう せいかつ し えん
南部地域障がい者就業・生活支援センター

〒547-0026

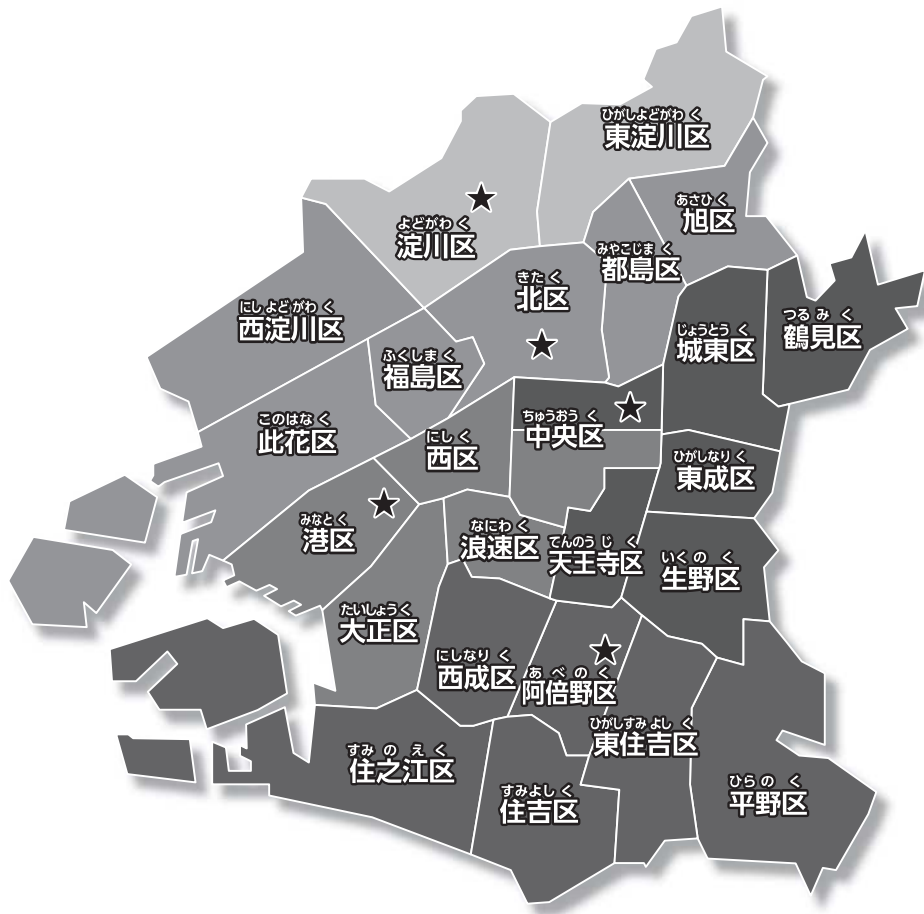
おおさか し ひらの く きれに ちやうめ ばん ごう
大阪市平野区喜連西6丁目2番55号

(大阪市職業リハビリテーションセンター内)

TEL 06-6704-7201 FAX 06-6704-7274



おおさかし ない いちらん
大阪市内ハローワーク一覧



めいしょう 名 称	かんかつくいき 管轄区域	しよざい ち でん わ ぶもん 所在地／電話（部門コード）
ハローワーク ^{よどがわ} 淀川	よどがわ く ひがしよどがわ く すい た し 淀川区・東淀川区・(吹田市)	よどがわ く じゅうそうほんまち 淀川区十三本町 3-4-11 06-6302-4771 (43#)
ハローワーク ^{うめだ} 梅田	にしよどがわ く このはな く ふくしま く 西淀川区・此花区・福島区・ きた く みやこしま く あさひく 北区・都島区・旭区	きた く うめだ おおさかえきまえだ い 北区梅田 1-2-2 (大阪駅前第 2 ビル 16 階) 06-6344-8609 (43#)
ハローワーク ^{おおさかひがし} 大阪東	つる み く じょうとうく ちゅうおうく いちぶ 鶴見区・城東区・中央区 (一部)・ てんのうじ く ひがしなりく いくのく 天王寺区・東成区・生野区	ちゅうおうく のうにんばし 中央区農人橋 2-1-36 ピップビル 1～3 階 06-6942-4771 (42#)
ハローワーク ^{おおさかにし} 大阪西	ちゅうおうく いちぶ みなとく にしく 中央区 (一部)・港区・西区・ たいしょうく なにわ く 大正区・浪速区	みなとく みなみいおか 港区南市岡 1-2-34 06-6582-5271 (42#)
ハローワーク ^{あべの} 阿倍野	あべのく にしなりく すみのえく 阿倍野区・西成区・住之江区・ すみよし く ひがしすみよし く ひらのく 住吉区・東住吉区・平野区	あべのく ふみ さと 阿倍野区文の里 1-4-2 06-4399-6007 (45#)

※中央区については区内の管轄が大阪東と大阪西に分かれておりますのでご注意ください。詳しくは
 もよ 最寄りのハローワークにお尋ねください。

※各ハローワークとも、お電話でのお問い合わせについては音声ガイダンスが導入されています。
 しょう しやまどぐち そうだん さい おんせい したが ぶもん にゅうりよく
 障がい者窓口へのご相談の際は音声ガイドに従い部門コードを入力してください。

おおさか ぶ ない しょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん いちらん ぶ ない か しょ
大阪府内の障害者就業・生活支援センター 一覧 (府内18ヶ所)

めい しょう 名 称	かつどう く いき 活動区域	しょ ざい ち れん らく さき 所在地・連絡先
おおさか し しょう しゃしゅうぎょう せいかつ し えん 大阪市障がい者就業・生活支援センター	おおさか し 大阪市	おおさか し てん のう じ く とうじょうちよう おおさか し リつちゅうおう じゅ さんじょうない 大阪市天王寺区東上町 4-17 大阪市立中央授産場内 TEL：06-6776-7336 FAX：06-6776-7338
きたかわ ち ひがししょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 北河内東障害者就業・生活支援センター 支援センターさくら	だいとう し し じょうなわて し 大東市／四條畷市 かた の し 交野市	だい とう し すえ ひろちよう し えん ない 大東市末広町 15-6 支援センターさくら内 TEL：072-871-0047 FAX：072-889-2365
さかいし しょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 堺市障害者就業・生活支援センター エマリス	さかいし 堺市	さかいし さかい く あさひがおか なか まち さかいし リつ けんこう ふく し かい 堺市堺区旭ヶ丘中町 4-3-1 堺市立健康福祉プラザ4階 TEL：072-275-8162 FAX：072-275-8163
みなみかわ ち みなみしょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 南河内南障害者就業・生活支援センター	とんだばやし し かわ ち なが の し 富田林市／河内長野市 おおさか さ やま し ころ なんちよう 大阪狭山市／河南町 たい し ちよう ち はやあかさかわら 太子町／千早赤阪村	かわ ち なが の し にし の やまちよう 河内長野市西之山町 2-21 TEL：0721-53-6093 FAX：0721-53-6095
すいた しょう しゃしゅうぎょう せいかつ し えん すいた障がい者就業・生活支援センター Suitable	すいた し 吹田市	すいた し もとまち まる に ごう 吹田市元町 19-15 丸ニビル 102 号 TEL：06-6317-3749 FAX：06-4867-3030
たかつき し しょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 高槻市障害者就業・生活支援センター	たかつき し し まもとちよう 高槻市／島本町	たか つき し しろうきたちよう し えん かい 高槻市城北町 1-7-16 リーベン城北 2 階 TEL：072-662-4510 FAX：072-662-4700
や お かしわらしょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 八尾・柏原障害者就業・生活支援センター	や お し かしわら し 八尾市／柏原市	や お し かくおん じ 八尾市楽音寺 1-85-1 TEL：072-940-1215 FAX：072-943-0294
とよなか しょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん とよなか障害者就業・生活支援センター	とよなか し 豊中市	とよなか し てらうち 豊中市寺内 1-1-10 ローズコミュニティ・緑地 1階 TEL：06-4866-7100 FAX：06-4866-7755
ひがしおおさか し しょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 東大阪市障害者就業・生活支援センター J-WAT	ひがしおおさか し 東大阪市	ひがしおおさか し たか い だ もとまち 東大阪市高井田元町 1-2-13 TEL：06-6789-0374 FAX：06-6789-2151
ひら かたし しょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 枚方市障害者就業・生活支援センター	ひら かたし 枚方市	ひら かた し いそ じま もとまち 枚方市磯島元町 21-10 TEL：090-2064-2188 (相談専用) FAX：072-848-8911
みなみかわ ち きたしょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 南河内北障害者就業・生活支援センター	まつばら し は びきの し 松原市／羽曳野市 ふじ い でら し 藤井寺市	は びきの の し し り とり ふるいち 羽曳野市白鳥 3-16-3 セシル古市 102 TEL:072-957-7021 FAX:072-957-1604
ね や がわ し しょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 寝屋川市障害者就業・生活支援センター	ね や がわ し 寝屋川市	ね や がわ し ね や みなみ りゅうこう かく えん まごころ かい 寝屋川市寝屋南 2-14-12 隆光学園真心ハウス 3階 TEL:072-822-0502 FAX:072-812-5247
せんしゅうなかしょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 泉州中障害者就業・生活支援センター	きし わ だ し かいづか し 岸和田市／貝塚市	かい づか し はたなか 貝塚市畠中 1-3-10 TEL:072-422-3322 FAX:072-433-9923
いばらき せつ つ しょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター	いばらき し せつ つ し 茨木市／摂津市	せつ つ し ころ えん せつ つ し しょうがいしゃ しょう ごう し えん ない 摂津市香露園 34-1 摂津市障害者総合支援センター内 TEL:072-664-0321 FAX:072-664-0322
きた かわ ち にししょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 北河内西障害者就業・生活支援センター	もりぐち し かど ま し 守口市／門真市	もりぐち し ひ よしちよう もりぐち し しょうがいしゃ ころ れい しやこうりゅうかいかん かい 守口市日吉町 1-2-12 守口市障害者・高齢者交流会館 4階 TEL:06-6994-3988 FAX:06-6994-3988
せんしゅうきたしょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 泉州北障害者就業・生活支援センター	いずみおお つ し いずみ し 泉大津市／和泉市 たかい し ただおかちよう 高石市／忠岡町	いずみ し ふちゅうちよう いずみ かい 和泉市府中町 1-8-3 和泉ショッピングセンター 2 階 TEL:0725-26-0222 FAX:0725-26-0031
せんしゅうみなみしょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 泉州南障害者就業・生活支援センター	いずみさ の し せんなん し ほんなん し 泉佐野市／泉南市／阪南市 くま どりちよう た じりちよう みさきちよう 熊取町／田尻町／岬町	いずみさ の し しちかわらや いずみさ の し りつほくぶ し みんこうりゅう ほんかん 泉佐野市下瓦屋 222-1 泉佐野市立北部市民交流センター本館 TEL:072-463-7867 FAX:072-463-7890
とよ の きたしょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ し えん 豊能北障害者就業・生活支援センター	いけ だ し みのお し 池田市／箕面市 とよ の ちよう の せ ちよう 豊能町／能勢町	みのお し いな しゅうろう し えん かい 箕面市稲 1-11-2 ふれあい就労支援センター 3 階 TEL:072-723-3818 FAX:072-723-8803